



日本私立中学高等学校連合会発行
東京都千代田区九段北四丁目二番二五号
(私学会館内) 郵便番号一〇二〇〇七三
電話 〇三(三三六)二八二・一六五
購読料は一年で三千元(会費を含めて徴収)

www.chukoren.jp

平成23年度 協会長・事務局長会議開催

概算要求や税制改正要望など

義援金の配分が確定

本連合会は、十月二十七日(平成二十三年度協会長・日、群馬県高崎市内のホテル「事務局長会議」を開催した。



高崎市で行われた協会長・事務局長会議

この会議は、近年、全国私学教育研究会にあわせて開催しており、定期的に、文部科学省の平成二十四年度私学関係概算要求の概要や来年度私学関係政府予算をめぐる



森田 私立学助成課長

最新情勢等を各県の私学協会長、事務局長に報告、私学関係予算の拡充等に向けて更なる協力を要請するなどしている。会議の冒頭、挨拶に立った吉田会長は、秋の文化祭等でも引き続き私学ボランティア基金への募金協力を要請したほか、戦後の復興・成長に私立学校教育が大きく貢献し

主な内容

- 第12回常任理事会を開催……………2面
- 平成24年度文科省概算要求の概要……………3面
- 平成23年度実態調査中間報告……………4面
- 日私教研だより……………8面

たことを指摘した上で、今後私学全体の力で、良い教育のできる環境づくりを進めていくことが必要と強調した。この後、福島康志・事務局長が平成二十三年度の都道府県私立高校等経常費助成費補助金の生徒一人当たり単価、文部科学省の平成二十四年度税制改正要望の概要等を説明した。

このうち税制改正では、学校法人に対する個人寄附の税額控除について付帯要件の撤廃と、各都道府県私学退職金団体が一般法人になった場合の退職金事業に係る利子等の非課税措置の継続を要望していることを報告、近藤彰郎・私学振興部会長も個人寄附の税額控除に係る付帯要件について学校法人は特定公益増進法人なので要件を不要とする

と、そのうち学校週五日制に關しては年々実施率が減少していること、私立中学校の耐震化率が昨年比へ上昇したものの、公立学校はそれを上回る耐震化率となっていることなどを説明。続いて日本私学教育研究所の中川武夫所長が、来年度の全国私学教育研究大会は岩手県で実施すること、教員免許状更新講習に關しては冬期休業中にも開催することなどを説明、研修会等への積極的参加を要請した。

その後、文部科学省の森田正信・私学助成課長が、平成二十四年度私学関係概算要求や平成二十三年度補正予算案における私学関連予算の説明を行い、質疑応答が行われた。

回会 12 第 常任理事 概算要求、税制改正要望に向けて 今後の対応などを協議

本連合会の第十二回常任理事会が九月十三日、東京・市ヶ谷の私学会館で開かれた。例年より一カ月遅れで進行している来年度政府予算の私学関係概算要求や税制改正要望について最新情勢が報告された。その対応策等が話し合われた。

また本連合会が東日本大震災後に、「私学ボランティア基金」を通じて全国の私立中学校に拠出を呼び掛けている義援金について納入状況や、被災した私立中学校、生徒に対する見舞金等の贈呈状況も報告された。

この後、福島事務局長から、文部科学省の平成二十四年度私学関係予算概算要求の拡充に向け作成した本連合会の要望書の内容が説明された。基本的には現状維持プラスアルファ、耐震化補助については拡充を要望していきたい

このほか文部科学省の九月一日付異動で小松親次郎氏が私学部長に就任したことなどが報告された。

東日本大震災への対応に関しては、福島事務局長が義援金の受け入れ状況や見舞金等の贈呈状況を報告したが、吉田会長は今後、文化祭やバザーなどの機会に引き続き募金を集め、私学ボランティア基金に義援金を寄せしてほしいと要請した。

その後、部会（委員会）報告が行われ、實吉・教育制度委員長が、本連合会が、都道府県私学協会に宛て発出した「中学校での『授業時数の学年配当』の弾力的運用について」の文書、中教審の三村明夫会長に提出した「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（審議経過報告）」に対する意見、文部科学省の初等中等教育企画課教育制度改革室に提出した「『中高一貫教育制度』に関する主な意見等の整理」への意見について報告、教育制度改革等には早めの対応が大事だとした。



9月13日に開かれた第12回常任理事会

た吉田晋会長は、九月二日に発足した野田新内閣の文部科学省の政務三役の顔ぶれや、また私学について理解のある鈴木寛・文部科学副大臣は退任し、民主党の政策調査会文部科学部門会議の座長を務めることになったことなどを報告、出席の常任理事に私学振興に向けて更なる協力を呼

び掛けた。その後、福島事務局長から、文部科学省の平成二十四年度私学関係予算概算要求の拡充に向け作成した本連合会の要望書の内容が説明された。基本的には現状維持プラスアルファ、耐震化補助については拡充を要望していきたい

このほか文部科学省の九月一日付異動で小松親次郎氏が私学部長に就任したことなどが報告された。

東日本大震災への対応に関しては、福島事務局長が義援金の受け入れ状況や見舞金等の贈呈状況を報告したが、吉田会長は今後、文化祭やバザーなどの機会に引き続き募金を集め、私学ボランティア基金に義援金を寄せしてほしいと要請した。

その後、部会（委員会）報告が行われ、實吉・教育制度委員長が、本連合会が、都道府県私学協会に宛て発出した「中学校での『授業時数の学年配当』の弾力的運用について」の文書、中教審の三村明夫会長に提出した「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（審議経過報告）」に対する意見、文部科学省の初等中等教育企画課教育制度改革室に提出した「『中高一貫教育制度』に関する主な意見等の整理」への意見について報告、教育制度改革等には早めの対応が大事だとした。

教育改革案に相次ぎ意見提出

府県私学協会に宛て発出した「中学校での『授業時数の学年配当』の弾力的運用について」の文書、中教審の三村明夫会長に提出した「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（審議経過報告）」に対する意見、文部科学省の初等中等教育企画課教育制度改革室に提出した「『中高一貫教育制度』に関する主な意見等の整理」への意見について報告、教育制度改革等には早めの対応が大事だとした。

また本連合会が東日本大震災後に、「私学ボランティア基金」を通じて全国の私立中学校に拠出を呼び掛けている義援金について納入状況や、被災した私立中学校、生徒に対する見舞金等の贈呈状況も報告された。

このほか十月以降に中教審に高等学校教育部会が設置され、長塚常任理事（東京）が委員として参加すること、本連合会として全面的に長塚常任理事をバックアップしていく方針が報告された。

また日本私学教育研究所に關しては全国私学教育研究集会など今後の研修会の予定等が紹介された。

私立高等学校等の経常費補助 前年度比 4.0%増の1043億円

平成24年度 文部科学省私学関係概算要求

文部科学省は九月三十日、平成二十四年度概算要求を財務省に提出した。要求額は、特別要求枠「日本再生重点化措置」四千八百六十億円、「復旧・復興対策に係る経費」五千六百八十四億円を加え総額

で前年度比二・二％増の六兆二千七百二十億円。私立中高関係予算要求をみると、「私立高等学校等経常費補助」は、日本再生重点化措置比四十億四千九百万円（四・〇％）増の一千四百二十二

億七千九百万円の要求。生徒一人当たり単価は、高校で前年度比三百八十六円増の五千三百九十一円、中学校では三百三十六円増の四万六千四百二十三円、中等教育学校の後期課程は高校と前期課程は中学と同額。

来年度は特に防災教育等に取り組み私立高校等に対して高校を支援する。

「私立高等学校等施設整備費補助」に関しては、復旧・復興対策経費分三十億二千九十四万円を含め三十三億一千七百七十五万円、前年度比約十六億二千四百万円、九六・二％の増額。この予算要求の九三％を占めるのが防災機能強化施設整備費補助で、要求額は三十億七千三百万円。施設の耐震化、安全機能強化防

特別な支援を行うほか、東日本大震災の被災三県で、運営が困難な状況にあっても教育の質の向上を図る取り組みを行う私立高校等に対して特別の加算措置を行うこととしている。

また日本再生重点化措置分として食育や体験活動、国際交流、就職支援に取り組み中等教育学校を支援する。

「私立高等学校等施設整備費補助」については、復旧・復興対策経費分三十億二千九十四万円を含め三十三億一千七百七十五万円、前年度比約十六億二千四百万円、九六・二％の増額。全額が復旧・復興対策分としての要求。日本私立学校振興・共済事業団の融資を受けて実施される私立高校等の老朽校舎、危険建物の建て替え整備事業等に利子助成を行う。

このほか私学だけではなく高校生に対する給付型奨学金事業の創設を要求。予算要求額は百二億円。

私立高等学校等の経常費助成費等に対する補助

[内 訳]

| 区 分 | 金額 (百万円) | | | 生徒等1人あたり単価(円) | |
|-------------------------|----------------|-----------|-------|--------------------|--------------------|
| | 平成24年度概算要求・要望額 | 平成23年度予算額 | 比較増減額 | 平成24年度概算要求 | 平成23年度予算 |
| 一 高等学校(※) | 49,624 | 49,626 | △2 | 53,291 | 52,905 |
| 般 中等教育学校(前：前期課程、後：後期課程) | 409 | 374 | 35 | 46,423(前)53,291(後) | 46,087(前)52,905(後) |
| 中 学 校 | 10,920 | 10,995 | △75 | 46,423 | 46,087 |
| 小 学 校 | 3,276 | 3,241 | 35 | 44,812 | 44,487 |
| 幼 稚 園 | 25,101 | 24,438 | 663 | 22,784 | 22,619 |
| 助 小 計 | 89,330 | 88,674 | 656 | — | — |
| 特 別 補 助 | | | | | |
| 幼稚園特別支援教育経費 | 3,327 | 3,043 | 284 | — | — |
| 教育改革推進特別経費 | 8,287 | 5,343 | 2,944 | — | — |
| 過疎高等学校特別経費 | 270 | 263 | 7 | 68,335 | 68,335 |
| 授業料減免事業等支援特別経費 | 276 | 276 | 0 | — | — |
| 小 計 | 12,160 | 8,925 | 3,235 | — | — |
| 計 | 101,490 | 97,599 | 3,891 | — | — |
| 特定教育方法支援事業 | 2,789 | 2,631 | 158 | — | — |
| 計 | 2,789 | 2,631 | 158 | — | — |
| 合 計 | 104,279 | 100,230 | 4,049 | — | — |

※高等学校には広域以外の通信制課程を含む。また、単価については全日制・定時制の単価である。

私立高等学校等の施設整備費に対する補助

[内 訳]

| 区分 | 高機能化整備費補助 | 防災機能強化施設整備費補助 | エコキャンパス推進事業 |
|--------------------|---|---|---|
| 24年度概算要求額(23年度予算額) | 87百万円(80百万円) | 3,073百万円(1,566百万円) | 152百万円(42百万円) |
| 補助対象事業 | 情報教室や校内LANの整備、校舎等のバリアフリー化、カウンセリングルームの整備など教育内容・方法等の改善のために行う校舎の改造工事などに対する補助 | 耐震診断を含む施設の耐震補強及び安全機能強化(防犯対策、アスベスト対策)、防災機能強化(非構造部材の耐震対策、備蓄倉庫、自家発電設備等)のために行う工事等に対する補助 | 太陽光発電、校舎のエコ改修、校舎内外の緑化、雨水・排水の再利用など環境に配慮した校舎施設の改造工事に対する補助 |
| 補助対象経費 | 工事費、実施設計費(工事費の1%)及び教育装置の購入に要する経費 | 工事費、実施設計費(工事費の1%)及び事業を実施するために必要な経費 | 工事費、実施設計費(工事費の1%)及び設置経費に要する経費 |
| 補助対象事業費 | 上限2億円 下限1,000万円 | 上限2億円 下限400万円 | 上限2億円 下限1,000万円 |
| 補助対象校 | 私立の高等学校、中等教育学校、中学校、小学校及び特別支援学校 | | |
| 補助率 | 1/3以内 | 1/3以内 {Is値0.3未満の施設の耐震化は1/2以内} | 1/3以内 |

目的とした高機能化整備費補助を行うこととしている。

同補助ではそのほか、情報教室や校内LANの整備、校舎等のバリアフリー化などを

特別な支援を行うほか、東日本大震災の被災三県で、運営が困難な状況にあっても教育の質の向上を図る取り組みを行う私立高校等に対して特別の加算措置を行うこととしている。

また日本再生重点化措置分として食育や体験活動、国際交流、就職支援に取り組み中等教育学校を支援する。

「私立高等学校等施設整備費補助」については、復旧・復興対策経費分三十億二千九十四万円を含め三十三億一千七百七十五万円、前年度比約十六億二千四百万円、九六・二％の増額。この予算要求の九三％を占めるのが防災機能強化施設整備費補助で、要求額は三十億七千三百万円。施設の耐震化、安全機能強化防

特別な支援を行うほか、東日本大震災の被災三県で、運営が困難な状況にあっても教育の質の向上を図る取り組みを行う私立高校等に対して特別の加算措置を行うこととしている。

また日本再生重点化措置分として食育や体験活動、国際交流、就職支援に取り組み中等教育学校を支援する。

「私立高等学校等施設整備費補助」については、復旧・復興対策経費分三十億二千九十四万円を含め三十三億一千七百七十五万円、前年度比約十六億二千四百万円、九六・二％の増額。全額が復旧・復興対策分としての要求。日本私立学校振興・共済事業団の融資を受けて実施される私立高校等の老朽校舎、危険建物の建て替え整備事業等に利子助成を行う。

このほか私学だけではなく高校生に対する給付型奨学金事業の創設を要求。予算要求額は百二億円。

第3次補正予算案を閣議決定

耐震化促進事業に150億円など計上

政府は十月二十一日、今年度の第三次補正予算案を閣議決定した。十一月中には成立の見通し。

文部科学省関係は総額で五千七百二十億円。

このうち私立高校等に関係

する主要事業としては、①私立学校等施設の耐震化促進事業(百五十億円) ②被災私立学校等復興特別補助・交付金(八十三億円) ③高校生修学支援基金の延長(百八十九億

円)。このうち①の耐震化促進事業は、二つの事業からなるっており、その一つが「私立学校等施設の耐震補強工事等」で予算額は九十四億円。耐震補強工事に加え、非構造部材の耐震対策、太陽光発電など防災機能強化のための整

備を支援するもの。幼稚園から大学までが対象。もう一つが、耐震化促進のための日本私立学校振興・共済事業団への出資で、耐震改築事業に対する低利融資を実施する。予算額は五十六億円。大学・高校等に関しては低利融資期間を十年から二十年に延長、無利子期間(三年間)を創設する。融資率は〇・五%。

②の被災私立学校等復興特別補助・交付金は、被災地に所在する私立学校の安定的・継続的な教育環境の保障と学生等が安心して学べる環境整備等に対する支援。私立高等学校等に対する支援は五十三億円。高校生修学支援基金を活用して平成二十六年まで四年間支援する。被災三県では大震災等により生徒数の減少による学納金、補助金の減額が見込まれるが、一割以上減収となった法人について減収分の十分の九を四年間補助

する見通し。③の高校生修学支援基金については平成二十三年度で終了の予定だったが、更に三年間延長し二十六年度までとする。このほか被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金(百九十七億円)が計上されている。私立学校に限った事業ではないが、私立学校授業料等減免事業について、既存制度の拡充(入学科・施設整備費等)についても対象化する。二十六年度まで。



日本私立中学高等学校連合会は、このほど、平成二十三年度私立中学高校実態調査の中間報告をまとめた。この中間報告は、昭和三十七年以降毎年刊行している調査報告書の中の中間集計結果。そのため今後、数値が多少変動する可能性もある。

そのうち今春の私立高校

私立高校 入学定員充足率89・8% 前年度と比べ0・5ポイントの低下

(全日制)の入学者選抜では、全国千三百十九校の私立

高校を対象に、回答のあった千三百十五校を調べたところ、三十八府県、反対に増加した県が九府県あった。入学定員充足率が最も高かったのは大阪府で二〇八・七%。

前年度と比べ私立高校入学者数が減少した県は、全国で三十八府県、反対に増加した県が九府県あった。入学定員充足率が最も高かったのは大阪府で二〇八・七%。

一方、私立中学校に関して、前年度と比べると八千三百五十三人の減少。入学定員に対する充足率は八九・八%。前年度の充足率と比べ〇・五ポイント低下していた。

前年度に比べ入学者数が増加していた県は三都府県、減少していた県は七道府県。入学定員の充足率が一〇〇%を超えていたのは、富山県と岐阜県のみ。一学級当たり

の生徒数(全国平均)は、私立高校で三三・八人、私立中学校で三四・三人だった。

中学校については、学校週五日制については、私立中学校は五四・八%だった。前年度と比べて二・一

ポイントの低下。週五日制実施校のうち、完全週五日制実施校の割合は三九・〇%。

中学校に関しては七百四十六校を対象に七百四十五校から回答を得たが、何らかの形で学校週五日制を実施していた私立中学校は五四・八%だった。前年度と比べて二・一

ポイントの低下。週五日制実施校のうち、完全週五日制実施校の割合は三九・〇%。

ポイントの低下。週五日制実施校のうち、完全週五日制実施校の割合は三九・〇%。

数、学期制、学校週五日制等

学定員に対して入学者数は三

は大阪府で二〇八・七%。

度には七・八ポイント増加

校週五日制を実施している高

校週五日制を実施している高

全審連 松山市で第66回総会開催 近藤彰郎会長を再選

全国私立学校審議会連合会（近藤彰郎会長）は十月十三、十四の両日、愛媛県松山市内のホテルで第六十六回総会を開き、二十二年度事業報告・同決算報告、二十三年度事業計画・同予算等を承認したほか、任期満了に伴う役員改選で近藤会長、廣瀬和喜監事、長谷川了監事の再選を決定した。

また私立学校審議会委員として特に功勞のあった十四人（近藤彰郎会長）は十月十三、十四の両日、愛媛県松山市内のホテルで第六十六回総会を開き、二十二年度事業報告・同決算報告、二十三年度事業計画・同予算等を承認したほか、任期満了に伴う役員改選で近藤会長、廣瀬和喜監事、長谷川了監事の再選を決定した。

校の中に全国展開するサポーター校と連携して生徒募集を行い、定員を大幅に上回る生徒を入学させている事例やサポーター校が高校教育を肩代わりしている実情、広域通信制高校は全国で教育活動を展開するが、認可県以外の県で、たとえ関連施設があっても情報があつかめない、指導できない等の問題が改めて報告された。また高校教育の通信教育制度の適切な運用を図るため、

一ト校が高校教育を肩代わりしている実情、広域通信制高校は全国で教育活動を展開するが、認可県以外の県で、たとえ関連施設があっても情報があつかめない、指導できない等の問題が改めて報告された。また高校教育の通信教育制度の適切な運用を図るため、

め、高校通信教育規程の見直しや認可県以外でも教育活動が行われている都道府県の知事に実効性ある権限の付与等の必要性が指摘された。通信制課程の問題に関しては、現在、専修学校における「通信制の学科」の制度化が文部科学省で大詰め段階を迎えているが、第三専門部会では特

個性の伸長、グローバル人材育成、情報活用能力育成、キャリア教育充実、専門学科等の職業教育充実、コミュニケーション能力・規範意識・社会参画態度等の育成、不登校や中退者を出さないための方策検討など、幅広い内容となっている。

議案審議の後には、総会に出席の都道府県私立学校審議会委員と都道府県庁担当官が三専門部会（①専修学校・各種学校②幼稚園・特別支援学校③小・中・高校）に分かれて私立学校行政が直面している課題について情報交換、意見交換を行った。

このうち第三専門部会では、広域通信制高校をめぐる運営上の問題点、広域通信制高校に係る認可指導等の課題が討議された。

今後、具体的にどの課題を取り上げるかについて今年度

中央教育審議会初等中等教育分科会に高校教育をめぐる課題について集中して検討する「高等学校教育部会」が、このほど新設され、その初会合が十月四日、文部科学省内で開かれた。

学副大臣時代、平成二十二年一月の中教審総会の席上で再検討の必要性に言及しており、その後、昨年十一月から今年八月まで計七回、高校教育関係者等からの意見聴取を行っている。また、同省は昨年秋以降、都道府県教育委員会を対象に書面による意見聴取を実施、文科省職員による高校関係者等からのインタビューも実施している。

初会合は各委員が高校教育に関して抱えている問題意識や今後必要な改革の方向性を披歴した。このうち本連合会から参加の長塚委員は、公私間の学費格差問題、さらなる教育投資の必要性、広域通信制高校の運営実態の把握と質保証の必要性、多様化と教育の役割等について意見を述べた。



松山市内のホテルで行われた全審連総会

今年度の専門部会では広域通信制高

今年度の専門部会では広域通信制高

鈴木寛・民主党政策調査会文部科学部門会議座長が文部科

初会合では複数の検討課題

初会合では複数の検討課題

鹿兒島県 子供たちの明るい未来を求めて大会

鹿兒島県私立中学高等学校協会と同私立中学高等学校保護者会連合会は十月一日、鹿兒島市民文化ホールで、鹿兒島県私学振興大会「子どもたち

実二点を決議した。正村幸雄・同協会会長は、就学支援金について、加算される対象者の拡大等を要請。市山浩吉・同保護者会連合会会長は、経済的負担が学校選択の自由を困難にしているとして、私立学校教育への一層の支援を要請した。

千葉県 公立高の適正な配置で共存共栄を

千葉県私立中学高等学校協会と同私立小学校協会、同私立小・中・高等学校保護者会連合会は十月八日、千葉市の幕張メッセ国際会議場で、千

立高校の適正な配置による共存共栄を目指して、県内教育資源のフル活用・活性化が教育立県に不可欠であることを力説した。公私間の学費格差是正による保護者の経済的負担の軽減などを求める決議を採択して大会を締めくくった。

山形県 第50回記念大会で助成拡充等を要請

山形県私立学校総連合会と同私立中学高等学校PTA連合会は九月二十五日、山形市の山形県民会館で、第五十



る飛躍と助成の拡充を「」をスローガンに、約千五百人が参加した。石原弘迪・同総連合会会長は、幾多の困難にもめげず、しっかりと私学の役割を果たしていかなければならないとした上で、私学経営環境が厳しさを増す中で、公的助成の拡充の必要性を訴えた。

福岡県 公教育としての私学教育重要性をアピール

福岡県私学協会と福岡県私立中学高等学校保護者会連合会は七月二日、福岡市のアーク口入福岡で、福岡県私学振興大会を開き、公教育としての

じめ教育施設・設備に対する財政支援の公私間格差の是正等を要請した。新延克己・同保護者会連合会長は「就学支援金が保護者の教育費負担を一定額軽減したものの、公立との格差は何ら解消していない。格差が広がらないようにしてほしい」と要請した。

和歌山県 教育費の保護者負担軽減等3点を決議

和歌山県私立学校連合会は十月十九日、和歌山市民会館で第四十五回和歌山県私立学校振興大会を開いた。私学振興助成の充実、教育施設の改

ら、時代を超えて変わらないものをしっかり見続け、同時に、時代と共に変化していくものを鋭敏な感覚で受け止めながら、個性豊かな教育の創造に努めている。子どもの夢や希望の実現に向け、今後も全力で取り組んでいきたい」とあいさつした。

三重県 教育費公私間格差是正等の決議採択

三重県私学総連合会は十月十五日、津市の三重県総合文化センターで、第四十七回三重県私学大会を開いた。教育

れていること、少子化や近年の経済不況等の影響による生徒数の大幅な減少によって私立学校を取り巻く環境が非常に厳しくなっていることを指摘。「公的支援が減ることになれば、私立学校の経営は危機的な状況になる」と述べ、私学振興への理解と支援を要請した。

基本法に基づき私立学校振興のための助成の充実、教育費

は、学校の経営に直接影響する私学助成予算が毎年減額さ

私学研修 福祉会 24年度海外研修員募集集中

財団法人私学研修福祉会(増田壽男理事長)は、十二月九日(必着)まで平成二十四年度の海外研修員を募集し

ている。私立学校の教職員に一定期間、外国の学校等で教育研究、調査研究に専念する機会を与え教職員の資質向

上、私学教育の進展への寄与を目的としたもの。概要は次の通り。◇申し込み資格・研修期間

開し、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起に努めてい

ている。

そのうち平成二十三年度「児童虐待防止推進月間」標

語の募集には、三千六百八十四作品(有効応募総数)の応募があり、厳正な審査の結果、『守るのは 気づいたあ

厚労省・内閣府

児童虐待防止に関心をもって!

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加傾向を

たどり、幼い子供が生命を奪われる事件も後を絶たない状況だが、厚生労働省と内閣府

は、警察庁、法務省、文部科学省、最高裁判所等の協力を

得て毎年十一月の一か月間を「児童虐待防止推進月間」と

位置付け、各種啓発事業を展開し、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起に努めてい

る。本連合会も協力団体の一つ。採用されている。

厚労省のまとめによると、全国の児童相談所における児童虐待に関する相談対応件数は、児童虐待防止法施行前の平成十一年度の一万二千六百三十一件と比べ、平成二十二年

度(速報値、宮城県、福島県、仙台市を除く)には五万五千五百五十二件にまで拡大している。事業資金は、同社

と全国アソシエツ会が共同で出捐した信託財産から生ずる収益金ならびに毎年の追加信託および寄付金によって運営している。同奨学金の奨学生募集概要は次の通り。

△奨学金額
月額二万五千円(返還不要)
▽給付期間
正規の最短期間内
▽給付方法
毎年四期に分けて給付
▽応募手続き(必要書類)
〔応募時〕
・願書
・現在の主たる生計維持者の所得証明書または非課税証明書
▽申込先(問い合わせ先)
千一三五―八五八一 東京都江東区木場一―五―一六五
深川ギヤザリア W2棟
りそな銀行 信託サポートオフィス 公益信託担当
☎03(6704)3325

平成24年度奨学生公募

公益信託アフラックがん遺児奨学金

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)がアフラック全国アソシエツ会(同社代理店会)と共同で設立した「公益信託アフラックがん遺児奨学金(受託者株式会社りそな銀行)は、平成二十四年度(二〇二二年

度)奨学生を公募している。この公益信託は主たる生計維持者をがんで亡くし、経済的理由から就学の機会が狭められている高校生等を対象に奨学金を給付し、社会に有用な人材を育成することを目的としている。事業資金は、同社

△奨学金額
月額二万五千円(返還不要)
▽給付期間
正規の最短期間内
▽給付方法
毎年四期に分けて給付
▽応募手続き(必要書類)
〔応募時〕
・願書
・現在の主たる生計維持者の所得証明書または非課税証明書
▽申込先(問い合わせ先)
千一三五―八五八一 東京都江東区木場一―五―一六五
深川ギヤザリア W2棟
りそな銀行 信託サポートオフィス 公益信託担当
☎03(6704)3325

①私立の高校・中等教育学校・中学校・小学校・幼稚園の専任教員または専任職員(現在の勤務校に在職二年以上の者)②学校法人本部または私立の大学・短大・高専の専任職員(教員は除く、現在の勤務校に在職二年以上の者、加えて①②ともに、原則として五十歳未満。助成対

象期間は、助成対象となった日から十二月以内。
◇研修目的等 Ⅱ申込書に千字程度で具体的に記入。申込書に研修先からの招聘状(和訳)を添付。
◇助成対象経費 Ⅱ交通費は日本との往復、国内移動に係る航空費、船賃の実費。滞在費は一日七千七百円。た

は登録原票記載事項証明書
・主たる生計維持者だった方の死亡診断書または死亡届書の記載事項証明書
・在学証明書
▽申込期限
平成二十四年二月末日必着
△奨学生の内で
公益信託アフラックがん遺児奨学金の運営委員会にて選考のうえ、受託者が本人に通知します。
▽申込先(問い合わせ先)
千一三五―八五八一 東京都江東区木場一―五―一六五
深川ギヤザリア W2棟
りそな銀行 信託サポートオフィス 公益信託担当
☎03(6704)3325

研究会
群馬大学
私学群
全国私学
集

私学経
営など

440人の私立中高校教職員参加 6部会で研究協議

第五十九回全国私学教育研究集会・群馬大会が十月二十七日・二十八日の両日、群馬県高崎市の群馬音楽センター、ホテルメトロポリタン高崎等を会場に開かれ、全国から約四百四十名の私立中学高等学校の教職員が参加した。同大会は日私教研及び財団法人私学

研究目標に、私学経営、教育課程、法人管理事務運営、進路指導、国際理解教育、特色教育の六部会が開かれた。初



群馬音楽センターでの全体集会

日の全体集会では吉田晋・中高連会長（日私教研理事長）が中高連・日私教研の事業と今後の私学教育への取り組みを報告。財団法人群馬交響楽団・常務理事の五十嵐靖男氏が「音楽」による情操教育の向

日私教研だより

上と普及く県民とともに歩む群馬交響楽団」のテーマで講演した後、群馬交響楽団の演奏が行われた。二日目は終

グローバル化の遅れた

日本の教育再生を討議 国際教育研究部会を開催

教育政策毎に部会を設置して行う「私立学校専門研修会」のうち、国際教育研究部会が八月二十六日、東京・私

学舎館で開かれ、校長、教頭、国際理解教育担当教諭ら五十余名が参加した。研究のねらいは「グローバルバリエーション

から外れた日本の教育をどうするか」とし、インテル（株）・教育プログラム推進部長の柳原なほ子氏による「二十一

先の東日本大震災をうけて、文部科学省が公募する平成二十三年度「学校運営の改善の在り方に関する取組」に日私教研が企画・応募した「震災時における学

12月3日、兵庫私学会館で 大震災対応調査中間報告会

・学校訪問調査、並びに阪神淡路大震災・中越地震等との比較調査を進めている。これに伴い、本調査研究の中間報

告を兵庫私学会館において、十二月三日に開催する。募集人員は百名、締切は十月三十日。申込・照会は研

日部会での研究協議で、講演修内容をまとめた研究集録はや研究発表等が行われた。本年度末に刊行予定。
来年は盛岡市で岩手大会
十月11・12日
第六十回となる平成二十四年度岩手大会の研究目標は「未来を拓く私学教育く人間力を養い人格の完成を目指す」で、ホテルメトロポリタ



国際教育研究部会

校対応の在り方に関する調査報告会を兵庫私学会館において、十二月三日に開催する。募集人員は百名、締切は十月三十日。申込・照会は研

世紀型スキル「これからの社会で求められる人材」と題した基調講演が、更にこれを受け、同社専門のトレーナーの指導によるワークショップが行われた。パネルディスカッションでは、研究のねらいをテーマに、外務省広報文化交流部長の村田直樹氏、立命館アジア太平洋大学教授の近藤祐一氏、SCS国際会計事務所グループの公認会計士・少徳健一氏をパネリストに迎え、聖学院中学高校・校務部長の平方邦行氏がコーディネーターを務め、各分野での教育の関わりの中から、グローバル社会で中等教育に欠けているものが指摘され、私学教育への期待など有意義な提言、活発な討議が行われた。

東日本大震災義援金納入状況

平成23年10月31日現在

Table with 5 columns: 区分, 義援金(円), 学校数, その他(件), 備考. Lists donation details by prefecture.

①中高併設校は1校扱い
②その他は、私学協会（一部保護者会含）等

日本私立中学高等学校連合会(吉田晋会長)は、東日本大震災発生以降、「私学ボランティア基金」を通じて全国の私立中学高校関係者に義援金の拠出を呼び掛けてきたが、その結果、全国から寄せられた義援金は、左表の通り、十月三十一日現在で総額一億九千八百三十三万二千三百四十五円となった。この義援金の取り扱いに関しては同基金の理事会で内規を決定、それに従って、特に被害が深刻だった青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の六県の被災私立中学高校八十四校に、被害状況に応じて十万円から三百万円を見舞金として贈呈した。見舞金最高額の三百万円は、被害額五億円以上の学

東日本大震災 私学ボランティア基金 義援金、約2億円に
中高84校と生徒1548人に見舞金等贈る



日本私立中学高等学校連合会発行
東京都千代田区九段北四丁目二番二五号
(私学会館内) 郵便番号一〇二一〇〇七三
電話 〇三(三三六)二八二八・一六八五
購読料は一年で三千元(会費を含めて徴収)

東日本大震災被災校・生徒のメッセージ
本連合会の私学ボランティア基金・東日本大震災義援金等を原資とする災害見舞金に、被災した私立中学・高校の校長、先生、生徒の皆様からメッセージが寄せられました。その全文を掲載します。

東日本大震災 被災6県災害見舞金一覧(学校関係)

中高速 23.8.31

Table with 5 columns: No, 県名, 被災学校数, 被災額計(千円), 内規5の③に基づく災害見舞金額別贈呈校数(内訳), 見舞金計(万円). Lists disaster relief amounts by prefecture.

注：学校数は中高併設校は1校扱い。被災したものの被害額の報告のない場合は除いている。

校が対象。被災学校数は六県で百十九校だが、被害が軽微など被害額の報告のなかった学校は見舞金の対象から除外している。六県の被災校見舞金の総額は五千六百八十万円。一方、被災生徒等に関しては、九月三十日現在で二十三都府県、百三十二校、千五百四十八人の生徒に対して見舞金等を贈呈した。私立中学高

対して贈呈した。東日本大震災 校生徒への見舞金等は、「弔慰金」「修学支援金」「見舞金」「特別支援金」の四つの種別を設けた。このうち「弔慰金」は生徒・教職員の死亡に

災では私立中学高校で十人の死亡が確認されている。修学支援金「は保護者を失くした生徒に」「見舞金」は居宅を失くした生徒に、「特別支援金」は他の都道府県あるいは自県内の他の地域に居を移し、転校(国内留学、事実上の就学を含む)した生徒に贈呈した。生徒への見舞金等の総額は一億四千九百五十五万円。(2面へ続く)

東日本大震災 都道府県別災害見舞金一覧 (生徒関係) 中高連 23.9.30

| 都道府県名 | 内規6① 弔慰金 | | | 内規6② 修学支援金 | | | 内規6③ 見舞金 | | | 内規6④特別支援金 | | | 見舞金等支給者(内規6①~④)(実数) | | | 支給期日(振込) |
|-------|----------|-----|-----------|------------|--------|------------|----------|------------|-------------|-----------|---------|------------|---------------------|------------|-------------|---------------|
| | 校数 | 生徒数 | 金額 | 校数 | 生徒数 | 金額 | 校数 | 生徒数 | 金額 | 校数 | 生徒数 | 金額 | 校数 | 生徒数 | 見舞金等合計額 | |
| 青森 | | | | 2 | 2(1) | 450,000 | 5 | 22(7) | 1,850,000 | | | | 6 | 23(8) | 2,300,000 | 7/22 |
| 岩手 | | | | 8 | 12(2) | 3,300,000 | 11 | 79(23) | 6,750,000 | 6 | 8(8) | 400,000 | 11 | 85(25) | 10,450,000 | 7/22 |
| 宮城 | 3 | 8 | 2,400,000 | 11 | 31(6) | 8,700,000 | 20 | 909(257) | 78,050,000 | 5 | 6(3) | 450,000 | 20 | 943(264) | 89,600,000 | 8/30 9/9 |
| 山形 | | | | | | | 6 | 11(8) | 700,000 | 4 | 5(4) | 300,000 | 6 | 12(9) | 1,000,000 | 7/22 |
| 福島 | 1 | 2 | 600,000 | 4 | 4(1) | 1,350,000 | 16 | 215(65) | 18,250,000 | 8 | 51(12) | 4,500,000 | 17 | 250(69) | 24,700,000 | 7/25 9/30 |
| 新潟 | | | | | | | 2 | 2(2) | 100,000 | 2 | 2(2) | 100,000 | 2 | 2(2) | 200,000 | 7/22 |
| 茨城 | | | | | | | 18 | 118(17) | 10,950,000 | 2 | 6(4) | 400,000 | 18 | 121(18) | 11,350,000 | 7/26 8/30 9/2 |
| 栃木 | | | | | | | 2 | 2(2) | 100,000 | 2 | 3(2) | 200,000 | 2 | 3(2) | 300,000 | 7/22 |
| 群馬 | | | | | | | 1 | 2(1) | 150,000 | 1 | 1(1) | 50,000 | 1 | 3(2) | 200,000 | 8/8 |
| 千葉 | | | | | | | 8 | 17(5) | 1,450,000 | 2 | 2(2) | 100,000 | 9 | 19(7) | 1,550,000 | 7/22 |
| 神奈川 | | | | | | | | | | 4 | 6(3) | 450,000 | 4 | 6(3) | 450,000 | 8/30 9/15 |
| 東京 | | | | | | | 10 | 14(9) | 950,000 | 16 | 22(14) | 1,500,000 | 19 | 27(16) | 2,450,000 | 7/22 9/29 |
| 石川 | | | | | | | 2 | 3(2) | 200,000 | 2 | 4(3) | 250,000 | 2 | 4(3) | 450,000 | 7/26 9/15 |
| 山梨 | | | | | | | 2 | 15(14) | 800,000 | 1 | 17(17) | 850,000 | 2 | 18(17) | 1,650,000 | 8/11 |
| 岐阜 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 100,000 | 1 | 1 | 100,000 | 7/20 |
| 愛知 | | | | | | | 1 | 1(1) | 50,000 | 2 | 2(1) | 150,000 | 2 | 2(1) | 200,000 | 7/22 |
| 京都 | | | | | | | 1 | 1(1) | 50,000 | 1 | 1(1) | 50,000 | 1 | 1(1) | 100,000 | 7/22 |
| 大阪 | | | | | | | 1 | 1(1) | 50,000 | 2 | 3(1) | 250,000 | 2 | 3(1) | 300,000 | 7/20 9/15 |
| 兵庫 | | | | | | | | | | 2 | 3 | 300,000 | 2 | 3 | 300,000 | 7/20 |
| 福岡 | | | | | | | | | | 2 | 2 | 200,000 | 2 | 2 | 200,000 | 7/20 |
| 佐賀 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 100,000 | 1 | 1 | 100,000 | 7/22 |
| 鹿児島 | | | | | | | 1 | 16(5) | 1,350,000 | | | | 1 | 16(5) | 1,350,000 | 8/19 9/15 |
| 沖縄 | | | | | | | | | | 1 | 3(1) | 250,000 | 1 | 3(1) | 250,000 | 7/22 |
| 計 | 4 | 10 | 3,000,000 | 25 | 49(10) | 13,800,000 | 107 | 1,428(420) | 121,800,000 | 67 | 149(79) | 10,950,000 | 132 | 1,548(454) | 149,550,000 | |

注：1. ()は公立出身者(半額支給)で、内数である。2. 6①の内、教職員の死亡は、福島県に1名である。3. 6②の内、両親をともに亡くした生徒は、宮城県に2名(内1名公立出身)、福島県に1名である。

学校への見舞金と生徒への見舞金等を合わせると総額で二億六百三十五万円となり、今回不足分はこれまで同基金に蓄えてきた分から支出した。

〔青森県〕

千葉学園高等学校 校長 千葉 満

去る3月に発生した東日本大震災では幸い津波による被害は免れましたが、本校では主に教室棟の亀裂破損と講堂の床・ステージで沈下等の被害を受けました。応急処置の後、夏休みに入って本格的な復旧工事を行い教室棟の工事をなんとか終え、二期期に入つて生徒達は平常の学校生活を送っております。しかし、講堂の方の修復は10月末現在も工事が進められており、全体集会・文化祭等の学校行事に不便な思いをしています。校舎はかなりの被害を受けましたが、強度の割には設備等の被害は思いのほか少なく、生徒の人的被害がなかったことが何よりのことでした。

日本私立中学高等学校連合会並びに私学ボランティア基金を通して全国の私学の皆様から心温まるご援助をいただきました。このようなお励ましをいただいで、私どもは震災を乗り越え力強く歩んで参りたいと思っております。皆様の物心両面にわたるご支援に対し、心から深く感謝申し上げます。

【八戸工業大学第一高等学校 1年 男子】
震災2日前、中学校の卒業式を終えたばかりの私は、この日、自宅におりました。もし母親が車で迎えに来てくれなかったら、おそらく津波にのまれて命を落としていたことでしょう。
翌日、目にした我が家は、見るも無惨な状態でした。どこから手をつけてよいのか戸惑うばかり。津波の恐ろしさを目の当たりにした瞬間でした。とにかく住む場所を探さなくては・・・とりあえず家族4人、親戚の家に身を寄せることとなりました。結局、15年間住み慣れた我が家は取り壊すことになったのです。
被災には遭いましたが、私は改めて人の善意、温かさというのを知りました。私も将来、人の役に立てる仕事に就きたいと強く思っています。そのためにも、今後の高専生活に、一層頑張るつもりで行きたいと思っております。

【八戸工業大学第一高等学校 2年 男子】
私の自宅は津波で被災しました。初めて自宅を目にしたのは津波警報が解かれてからです。見たときは本当に自分の家かと疑いたくなるほどの悲惨な状況でした。玄関のドアは廊下まで流され、タンスなどは軒並み倒れていました。また、自宅の隣の叔父の店舗も同様に被災していました。唯一の慰めはつながっていた飼い犬が、あの状況の中、生存していたことです。
その後、親戚や友人、ボランティアの方々が家の片付けの手伝いに来てくれました。そして、色々な方々からの援助もいただきましたが、叔父の店舗は、現在も復旧していません。
しかし、今こうして生活できるのも周りの方々のご支援と見舞金のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。私

東日本大震災被災校・生徒のメッセージ

は、援助していただいた方々に感謝とそしていつかは恩返しをしたいと思っています。

【八戸工業大学第一高等学校 2年 男子】

この度は、被災した私たちに見舞金を贈呈してくださり、ありがとうございます。私たちが家族にとって大きな支えになりました。

当初は、津波によってすべてを流され、どのように生活をしていけばいいのかわからない状態でした。しかし、多くの方からの支援や、今回の見舞金のおかげで、何とか暮らせるようになりました。見舞金などの支援をいただけなかったら、食料品や衣料品などの生活物資を思うように買えず、元の生活に戻ることが難しかったと思います。

今では、学校で以前のように部活動もできるように感謝しています。今回の出来事は、私にとってある意味で良い経験になりました。これから先も、辛いことから逃げないで立ち向かっていこうと

思います。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

【八戸工業大学第一高等学校 2年 男子】

3月11日、津波で自宅1階の天井まで浸水しました。新しい家のことや今後の生活を考えたとき、今までのように学校に通えるか不安でした。このような状況の中、日本私立中学高等学校連合会の学校

・生徒・保護者の方々が義援金を募り、それを見舞金としていただけたというのを知りました。私は、本当に有り難く、一人ひとりにお礼を言いたい気持ちになりました。

今は色々な方々に支えていただけてはかりですが、これから私が人のために役立つ人間になりたいと思います。この震災で失ったものは大きかったです。人々の心の温かさを肌で感じることで、得られるものもあったと感じています。この度は、ご支援ありがとうございます。本当に感謝しています。

【岩手県】

「震災について」

【岩手高等学校 2年 男子】

平成23年3月11日に日本を襲う大地震があり、たくさんの命と住居などが失われました。特に、東北地方の被害がひどく、僕は実際に被災地に行き大きなショックを受けました。

また、僕自身もこの震災で身内の者(父)を失いました。このようなショックと悲しみの中、援助をしてくださった方々がいて、僕は本当に感謝の気持ちでいっぱいです。僕は、たくさんの方々の援助に感謝し、これからも頑張っていきたいと思っています。

これからの自分は、この震災を忘れず、次の世代に伝えていきたいと考えています。また、震災の被害や悲しみを乗り越えて、明るく楽しい将来を創りあげるよう、子供達に伝え残します。私は、現在運動部員なので、しっかりと努力し、学業や部活動をみんなの援助によってやらせていただいているという立場を自

覚して、毎日を大事に送っていかうと思っています。

【専修大学北上高等学校 「メッセージ」 3年 男子】

私の実家は、岩手県釜石市鶴住居町にあり今回の大津波により流されてしまいました。幸い家族は全員無事でしたが、親戚2名と友人1名が亡くなってしまいました。また、母校である鶴住居小学校と釜石東中学校も津波により全壊してしまい、私の思い出の詰まったふるさとの風景が消えてしまいました。それからの高校生活では、勉強や部活動を表向きには頑張りましたが、気持ちはどうしても沈み、悩む日々が続きました。

しかし、物心両面から様々な方々が私を支えて下さったお陰で、私には部活動などで結果を出すことで、恩返しをするという新たな目標ができました。

私には、将来教員になると

いう夢があります。来年からは、大学で一生懸命勉強し、社会に貢献できる人間になれるよう努力します。

【盛岡白百合学園高等学校 1年 女子】

このたびの義援金をいただき、本当にありがとうございました。今回の3月11日の震災で私の住んでいた家、思い出の物、そして祖父母；多くものを失ってしまいました。しかしその悲しい思いと同時に、普段私が当たり前に何気なく行っている事が出来なくなるこの辛さ、そしてありがたさを改めて感じ、辛い経験であったものの、そのことに感謝するという大切な思いを得ることができたと私は思います。これからは、な

たくさんの国の人達が、義援金や物資などで支援してくださいました。自分達の力だけでは何もできなくなってしまった私達は、それらの支援にとても助けられました。今は、その支援のお陰で、少しずつ以前の生活を取り戻しています。心から感謝しています。本当にありがとうございます。

これからも私達は、復興に向けて努力していきます。少

しずつではありますが、一歩、確実に歩いて行きたいです。

【盛岡白百合学園高等学校 1年 女子】

このたびの義援金をいただき、本当にありがとうございました。今回の3月11日の震災で私の住んでいた家、思い出の物、そして祖父母；多くものを失ってしまいました。しかしその悲しい思いと同時に、普段私が当たり前に何気なく行っている事が出来なくなるこの辛さ、そしてありがたさを改めて感じ、辛い経験であったものの、そのことに感謝する

大切な思いを得ることができたと私は思います。これからは、な

と強く思います。本当にありがとうございます。

東日本大震災被災校・生徒のメッセージ

2年 女子

義援金を支給していただき、本当にありがとうございます。津波で、私の住んでいた田老地区の住居は、ほとんど無くなってしまいました。未だにそれを信じられませんが、地元の友人たちが地域のために一生懸命に働いている姿を見て、「このままではいけない」と思っています。私がやらなければならぬことを一生懸命にしようと思えます。そして、それは学習に励むことだと思えます。応援してくれる家族や友人や、支援してくださっている方々のために頑張っていきたいと思います。

【盛岡白百合学園高等学校】
2年 女子
義援金をありがとうございました。震災が起きた時は、家族や家のことがとても心配で、震災から数日経っても色々と心配なことが多くありました。しかし今では、地元の復興も進んでおり、私も安心して学習や部活動に励むことができています。今回この震災を経験して、

【盛岡白百合学園高等学校】

私たちは様々な方々に支えられて生きているということを実感しました。こうして支えて下さっている方々のためにも、これから復興に向けて更に頑張っていきたいと思っております。ご支援本当にありがとうございます。

感謝

【盛岡白百合学園高等学校】
女子

今回は、私たちを支援していただいて、本当にありがとうございます。3月の震災から7ヶ月ほどたち、私は今やと少しずつ立ち直ることができるようになってきました。大学進学への意欲も少しずつ出てきました。絶望のふちから私に立ち直る力が出てきたのは、今回支援していただいたみなさんの力があってこそです。私はこれから、勉強にも部活動にも力を入れて、一步一步確実に前進していきたいと思えます。本当に、ありがとうございます。

感謝

【盛岡白百合学園高等学校】

女子

平成23年3月11日は、私にとって自宅が壊れてしまった上に、祖父やたくさんの人を亡くした悲しい日となりました。津波を見てその状況を理解したら、絶望感と将来のことが不安になりました。でも今回のご支援のおかげで、将来への不安がなくなり、立ち直ることができました。

【盛岡中央高等学校】
2年 女子
この度は、義援金を格付していただき、本当にありがとうございます。私は、学校では、柔道部に所属しています。今年は、東日本大震災があり、家族・友人を亡くし、様々な不安がたくさんありました。しかし、今回は、北東北でインターハイが開催されることもあり、練習に励むことが出来ました。その結果、岩手大会で優勝し、インターハイに出場することができました。学習面においても何の不自由も無く、日々、勉強に励む事が出来ています。これも、みなさんからの支援のおかげです。今まで、様々な支

【盛岡大学附属高等学校】
女子
この度は、東日本大震災の見舞金を頂きまして本当にありがとうございます。さて、私はこの震災において父親を亡くしました。正直なところ、その当時も現在も、まだその事実を受け入れられないだけ落ち着いてはおりません。しかし、悲しんでばかりはいられません。私の悲しみと関係なく時間は過ぎていきます。震災当時は就学す

【盛岡中央高等学校】

男子

援を受けてきましたが、支援を受ける度に、私は1人ではないという事を実感しています。これからも、支援してください。さったみなさんに恩返しが出来ないように、学習・スポーツなどに一生懸命、取り組んでいきたいと思えます。本当にありがとうございます。

【盛岡中央高等学校単位制】
男子
震災当日私は、自宅に居ました。祖母と共に城山公民館に避難しました。翌日、自分は食料等を手に入れるために7時間程歩いて釜石まで行き、なんとか少しの水と菓子をもらい大槌に帰ろうとしました。途中、火事があり帰りの道が断たれて祖母の待つ城山に戻ったのは一週間後でした。家族全員で顔を合わせたのは4月になってからでした。自宅は全壊で、今は仮設住宅に住んでいます。家族のためにも、がんばって就職しなければならぬと思ひ、面接練習を重ね合格することができ、内定を頂きました。

【盛岡中央高等学校単位制】
男子
震災当日私は、自宅に居ました。祖母と共に城山公民館に避難しました。翌日、自分は食料等を手に入れるために7時間程歩いて釜石まで行き、なんとか少しの水と菓子をもらい大槌に帰ろうとしました。途中、火事があり帰りの道が断たれて祖母の待つ城山に戻ったのは一週間後でした。家族全員で顔を合わせたのは4月になってからでした。自宅は全壊で、今は仮設住宅に住んでいます。家族のためにも、がんばって就職しなければならぬと思ひ、面接練習を重ね合格することができ、内定を頂きました。

【盛岡中央高等学校単位制】

〔宮城県〕

【学校法人聖ウルスラ学院 理事長補佐 杉山 禎彦】
この度は私学ボランティア基金からの義援金を頂き、心より御礼申し上げます。早速に甚大な被害を受けた子ども達の家庭に届け、学校生活を継続するために必要な経費として、大切に生かしております。未来の社会で中心的な役割を担う子ども達に、希望を持って、いま身につけるべき力を養い、誰もが心豊かに暮らすことができる平和な社会を築いていけることを祈りつつ、日々の教育実践にあたっているところです。震災から半年以上を経過し

【学校法人聖ウルスラ学院 理事長補佐 杉山 禎彦】
この度は私学ボランティア基金からの義援金を頂き、心より御礼申し上げます。早速に甚大な被害を受けた子ども達の家庭に届け、学校生活を継続するために必要な経費として、大切に生かしております。未来の社会で中心的な役割を担う子ども達に、希望を持って、いま身につけるべき力を養い、誰もが心豊かに暮らすことができる平和な社会を築いていけることを祈りつつ、日々の教育実践にあたっているところです。震災から半年以上を経過し

【学校法人聖ウルスラ学院 理事長補佐 杉山 禎彦】
この度は私学ボランティア基金からの義援金を頂き、心より御礼申し上げます。早速に甚大な被害を受けた子ども達の家庭に届け、学校生活を継続するために必要な経費として、大切に生かしております。未来の社会で中心的な役割を担う子ども達に、希望を持って、いま身につけるべき力を養い、誰もが心豊かに暮らすことができる平和な社会を築いていけることを祈りつつ、日々の教育実践にあたっているところです。震災から半年以上を経過し

【学校法人聖ウルスラ学院 理事長補佐 杉山 禎彦】

ましたが、仮設住宅で亡くなる方が相次ぐといったように、様々な「後遺症」が人々を悩ませ苦しめていると、しばしば報じられています。いただきましたご支援を、こうした悩み苦しみを少しでも和らげられるような取り組みにも結び付けられるよう、教育現場でもボランティアの意義を再確認し、「絆」を広く共有できるように、キリスト教ミッションスクールである本校としては、子ども達の心に関わかけ呼びかけて参りたいと思えます。

【仙台育英学園高等学校
副校長 村岡 利信】

この度の東日本大震災の被災に対して格別なるご支援を賜り深く感謝申し上げます。被災して7ヶ月が経過いたしました。今もって苦境にある家庭が少なくありません。保護者の死亡した生徒が十数名、家屋の流失又は半壊以上の被害が500件弱と被害は甚大なものでした。しかしながら、保護者、生徒及び

教職員の懸命な努力により、学校生活はほぼ正常に戻り、落ち着きを取り戻しております。貴連合会私学ボランティア基金から多くの被害生徒にたくさん義援金をいただき、生徒及び保護者は大変助かっており感謝いたしております。本学園といたしまして、経済的な支援のための方策を実施いたしておりますが、今後とも努力していく所存です。

【古川学園中学校・高等学校
教頭 保野 聖一】

この度は、本校の被災生徒に対して心温まるご支援を頂戴致しまして、厚く御礼申し上げます。本校の所在する大崎市古川も沿岸部ほどの被害はありませんでした。多くの建物・道路・橋梁が破損し、我々の生活に大きな影響を与える結果となりました。震災から数ヶ月経った今、多

くの方々からお見舞いの言葉をいただくたびに、自らが体験した震災の大きさを改めて実感する毎日であります。本校の校舎も大きな被害を受け、新年度のスタートも遅くなつてしまいましたが、現在は生徒たちの努力もあって、平穏な状態で教育活動を送っております。ただ、生徒たちの様子を見ると、震災の前より日々の生活の中で感謝の気持ちを素直に表現できなくなつてきたように思います。これも偏に北日本の被災地を応援してくださつた多くの方々の影響であると感じております。

まだまだ復興までの道のりは遠いかも知れませんが、我々は教育活動を通して将来の日本を支えてゆくような力強い人材を育ててゆきたいと決意しているところでございます。最後に改めて皆様に御礼を申し上げて、失礼致します。

【学校法人東北学院
理事長 平河内 健治
学院長 星宮 望】

このたびは、東日本大震災

により被災した学生生徒の修学支援事業と本学院の教育環境の復旧・改善事業に対して、格段のご支援を賜り、誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

ご厚情に深謝し、本学院建学の精神のもと、授業料の減免や給付奨学金の充実など被災学生の修学支援のために、また被災した教室・教育研究設備などの復旧・改善のために、大切に使用させていただきますと存じますので、今後ともなお一層のご支援を偏に願ひいたします。

なお、このたびのご支援につきましまして、「東北学院時報」並びに本学院ホームページにご芳名と金額を掲載させていただきますので、なにとぞご了承いただきたく存じます。ここに、とりあえず、御礼のご挨拶とさせていただきます。

【東北学院中学校・高等学校
校長 永井 英司】

拝啓 ご恩寵のもと、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災から7ヶ月が経ちました。復旧・復興が進んでおりますが、未だに余震が続いております。また、福島原発事故の収拾もままならず、不安の中での日常生活や学校運営を余儀なくされております。

本年度の学校の歩みは1ヶ月遅れで開始されました。授業時数の補いも土曜日利用や夏休短縮により1学期内で補充することができました。学校行事につきましまして、時期は遅れたもの予定通りに行われております。これも偏に皆様をはじめ多くの方々のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

震災後、早速お見舞いや励ましのお言葉、救援物資を賜り心より御礼申し上げます。早速、御礼を申し上げるべきところ、ご挨拶が遅くなつてしま大変失礼いたしました。心よりお詫びを申し上げます。

【東北学院中学校・高等学校
校長 永井 英司】

最後に、貴会をますますのご発展をお祈り申し上げ、略儀ながら書面に御礼を申し上げます。

【学校法人宮城学院
理事長 松本 宣郎】
謹啓 日本私立中学高等学校連合会様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、3月11日に発生した東日本大震災に際しまして、大変なご心配をいただき、激励のお言葉、過分なお見舞いを賜り、有難く衷心より厚く御礼申し上げます。

東日本一帯が激震と津波に襲われ、いままお余震を心配しながら、不安な生活を余儀なくされている大勢の方々がおられます。被災された方々が一日も早くこれまでの生活を取り戻すことができるよう祈るばかりです。

本学院の学生・生徒、教職員の中に被災した者もおりましたが、校舎は耐震工事が2008年度に完了していたことが幸いし、大きな損害は免れ、2011年度の教育活動を少しずつ始めることができました。

これからは、教職員が一丸となり、学生・生徒の経済的支援にとどまらず、心のケア

東日本大震災被災校・生徒のメッセージ

等の充実をはかっていく所存
であります。

つきましては、お寄せいた
だいたご厚意は大事に用いさ
せていただきたく存じます。
本当にありがとうございます。

末筆ながら、皆様のご健康
とご発展をお祈りしつつ、
とりあえずの御礼のご挨拶を
申し上げます。

謹白

【聖和学園高等学校

2年 男子】

この度は東日本大震災での
義援金をいただきまして、あ
りがとうございました。

私の住んでいる地域では津
波の被害がひどく、私の母親
と妹も津波の犠牲者となって
しまいました。

私の家は海から近く、津波
で1階は浸水してしまい、ほ
とんどの物が流されてしま
いました。今回いただきました
義援金は生活用品や電化製品
の購入に使わせていただきま
した。

私の家は食堂を営んでお
り、ようやく営業を再開する
ことができました。将来は家

業を継ぎたいと思っていま
す。

【仙台育英学園高等学校

3年 女子】

私は宮城県東部の東松島市
に住んでいました。東日本大
震災の津波により母、祖母が
死亡し、家が全壊してしま
い、今は父の実家にすんでい
ます。生活は厳しい状況が続
いています。私も被災後は高
校に通うのがやつの状態で
した。その様な状況で義援金
をいただき、経済的にも助け
られました。精神的に元気を
いただきました。この大災害
を何とか乗り越えて、しっか
り生きていこうと考えていま
す。現在、将来の進路に向け
て頑張っています。

日本私立中学高等学校連合
会の皆様にあくさんの義援金
をいただきありがとうございます。
本当に助かっていま
す。

【東北高等学校

3年 女子】

この度は、お見舞い金を頂
き誠にありがとうございます。
震災当日は学校にいたた

め、住居のある塩釜港付近ま
で教頭先生のお車で送って頂
きました。到着したのは夜9
時を廻り、港付近が津波に襲
われたなど夢にも思いません
でした。その日は、住居に戻
れず、家族とも連絡が取れず
不安な一日を過ごしました
が、運よく家族全員が無事で
ありました。そのことがどん
なに幸せなことを改めて感
じました。しかし、街は津波
の被害を受け、塩釜や多賀
城、七ヶ浜の町は、甚大な被
害を受けました。それから7
ヶ月、通常の生活に戻るの
がこれほど大変だとは夢にも思
いませんでした。そんな中
で、市役所職員、自衛隊員や
警察、病院関係の人たちは寝
る間もなく我々被災者の為に
働いていただき、更に、全国
の皆様にも様々な援助をして
頂きました。一概に「優しさ」
と言いますが、被災した地域
の間は、何気ない優しさの
お陰で気持ちを奮い立たせる
ことが出来たのです。17年間
生きてきた私は「優しさ」や
「思いやり」の力を初めて知
った気持ちです。皆様から
のお気持ちに伝えられる大人に

なり、頂戴した「優しさ」を
何倍にもしてお返ししたいと
思います。

【東北学院高等学校

3年 男子】

この度は、全国の皆様から
お寄せいただいた義援金を頂
き、ありがとうございます。ま
た、私は今回の東日本大震災で
父を亡くしたことにより、震
災前より続けていた大学受験
のための勉強の継続が困難に
なり、一時は進学を諦めてい
ましたが、この度、全国の皆
様の温かいご支援のおかげ
で、震災前と変わらず、自分
の将来に向けた努力を継続す
ることができるようになりま
した。これからも必死に勉強
し、自分の夢を実現すること
により、社会に貢献できるよ
うな人間になることが、自分
にできる最高の恩返しである
と信じております。この目標
があることで、私は今とても
充実した毎日を送っており
ます。この度は、温かいご支
援を頂き、本当にありがとう
ございました。

【東北工業大学高等学校

3年 男子】

3月11日に起きた東日本大
震災で、私を含め被災された
中学、高校の生徒に、今回こ
のようなお見舞金を下さり、
ありがとうございます。

私以外の生徒も思いは同じ
だと思いますが、いただいた
お見舞金は大切にに使ってい
たいと思っております。早く
復旧できるように頑張ってい
たいと思っております。

辛い生活が長く続きまし
た。今は以前の日常に戻りつ
つありますが、かなり多くの
家が流されました。完全に以
前の状態に戻ることができま
せん。

しかしそれでも前に向かっ
て進んでいかなければいけな
いと思い、今回のような支援
を励みに、決して震災に負け
ないよう頑張っていきたいと
思います。義援金を送ってい
ただいた皆様の思いをきっか
り感じ、今後も頑張ってい
きます。

【東北生活文化大学高等学校

1年 男子】

今回は義援金をありがとうございます。

ございました。私は本当に周
りの人に助けられて生活して
いると感じます。なぜなら今
回の様な援助を受けているか
らです。今回の大震災により
私は父親を亡くしてしま、
精神的にも肉体的にも大きな
ダメージを受けていました。
本当は高校にも行きたくない
と思っていました。

しかし、今通っている高校
ではとてもたくさんの方の援助を
頂いています。この感謝の気
持ちは忘れる事なく日々頑張
っていきたいと思います。本
当にありがとうございます。

【東陵高等学校

2年 男子】

この度は私学ボランティア
基金様より多大なるご支援を
いただきありがとうございます。

3月11日の東日本大震災に
より、私たちは甚大な被害を
受けました。私もこの震災
で、たった一人の父親を亡く
しました。私は、その現実を
なかなか受け入れることが
できず、ただただ絶望だけが胸
を埋め尽くしていました。し

かし、それでも頑張って復興しようとしている人たちが、支えてくれるボランティアの方々の姿からご支援をいただき、私たちは一人ではなく周

りから支えられて生きているということに気づくことができました。これからは、周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずに生きていきたいと思

います。私は将来、海上保安官になりたいと思っています。そのため、私学を以前と愛

わらずにできるのも皆様からの多大なるご支援のお陰だと思

っています。本当にありがとうございます。【常盤木学園高等学校 3年 女子】

東日本大震災見舞金をいただき、ありがとうございます。私の家は津波の被害に遭

い、家は大規模半壊、父の営むカーネーションのビニール

ハウスは全て流されてしまいました。その光景に言葉を失い、こ

れからどうして行ったらいい

のか、とても不安でした。しかし、この様に全国から多くの支援を頂き、とても感謝しています。

私は、両親を助けるために就職を志望し、宮城県内の会社から内定を頂くことが出来

ました。これからは、上位級の資格に挑戦し、残された高

校生活を有意義に過ごしたいと思

います。そして、少しでも両親に安心してもらえるように、自立し仕事に一生懸命

取り組んでいきます。【古川学園高等学校 2年 男子】

この度は義援金をいただきありがとうございます。私達は3月11日の未曾有の大

震災により多くの悲しい、辛い体験をしました。私が通う古川学園も大きな

被害を受けました。一番多くの教室があった本校舎が1階

以前のような授業を受けることができないようになりまし

た。加えて、「平成25年新校舎完成予定」と書かれた垂

れ幕が掛かり、学校が復興へと向かっていることを感じま

す。私が住む家も同様に被害を受けました。私の家は小さい

ながら商店を営んでいます。店の上部にある、2階へと続

く階段の最上段が、足場ごと大きく沈みました。それによ

って店の天井タイルがはがれ落ちてきました。このことから店の改修が必要となり、結

果として店の一部を縮小することになりました。縮小した

部分は台所へつながっていたので、新たなリビングルーム

にしました。今ではその場所が家族団欒の場となっています。

メディアでは津波や原発問題が真っ先に取り上げられて

いますが、内陸部の私達の現状に対して、支援がまだ十分

に行き届いているとは言いきりません。そのような中、私達を支援

して下さった義援金には感謝してもし尽くせない思いで

す。いただいたお金は大切に使い、これからの生活に必ず

役立てていきます。多くの方々の支えによ

って、私達は様々な困難を乗り越えようとしています。皆さ

んの温かい気持ちを胸にこれからも頑張っています。この度は本

当にありがとうございます。今回の震災で、宮城学院中

高のスクールモットーでもある「隣人愛」を切に感じまし

た。今の私には、世の中の皆様のために出来ることは少な

いと思っています。だからこそ、大学に進学し、広い世界を知

り、今度は私が誰かの役に立てるような存在になっていき

たいと思っています。そして、震災を体験した私だから

こそ出来ることを実行していき

たいと思っています。【宮城学院高等学校 3年 女子】

今回の震災は、私に大きな影響を与えました。南相馬市

に自宅がある私は、地震の被害に加えて、福島第一原発の

事故によって家には帰れなくなり、両親は職を失い、今は

県外に移住して生活をしてい

ます。私は学校の寮にいますが、正直とても不安で仕方ない

毎日を送っていました。そういった状況のなかで、いつも

私を気にかけて下さった先生方や友人に限らず、様々な方

から精神的な励みや物質的な支援を頂きました。人の心

の温かさを感じています。そのような支えがあったからこそ、

今の私があるのだと思います。【山形県】

【山形県】 私は、福島県福島市の私立福島東稜高校に通っていま

しが、3月の東日本大震災に

よる東京電力福島第一原発事

故の影響を心配し、山形県鶴

岡市へ避難して来ました。そ

して、6月より私立羽黒高校

普通科(情報コース)に転入

し学校生活を送っています。

【山形県】 多くの人に支えられ

【山本学園高等学校 2年 女子】 この度は、私学ポランティア

ト授業を受けるか、転学を選ぶかの選択を迫られました。私は勉強の面と将来の面を考え、山形の山本学園高等学校に転学しようと決断しました。

当初は、突然一変してしまった生活環境の違いに戸惑いや不安を感じましたが、皆様のご支援や励ましのお蔭で毎日元気に登校しています。私は現在、大学進学を目指し、学習に取り組んでいます。これからも精一杯努力していく決意です。有り難うございました。

しかし、放射線による汚染は悪くなる一方でした。そのため家族と相談し、山形に避難することを決めました。山形には私たち家族を含め、非常に多くの福島県民が避難してきていました。体育館で皆と暮らす生活は想像していた以上に大変なものでした。

4月に入り、学校が始まるうとして、行く学校がなく、「私はこのまま高校生になれないのかな」と思っていました。

そんな時、多くの山形の人たちに手を差し伸べてもらうことで米沢中央高等学校に通うことができました。

今山形の生活は仲間にも恵まれ、充実した生活を送れています。これも山形の人達のおかげです。みなさん本当にありがとうございます。

3月11日に東日本大震災が起きてから、7ヶ月が経ちました。多くの人が命を失い、そして多くの建物が津波によって破壊されました。幸い、私の家族と家は無事でしたが、津波による二次災害によって福島原発が損傷したために、放射線が外部に漏れ、危険な状態になってしまい、祖母の家に2日間避難しました。

今回の経験により、人の温かみを知りました。これからは勉強も部活も一生懸命取り組み悔いのない生活したいと思います。

〔福島県〕

【いわき秀英高等学校

2年 女子

東日本大震災により、多くの人が家を失い、故郷を失い、そして大切な人を失いました。

私の家と祖父の家も津波の被害にあり、全壊してしまいました。このような事態に陥って、希望までも失いかけていた私たちに、多くの方々が手をさしのべてくださいました。震災によって私には失うものもありましたが、一方で、見知らぬ方々から励ましをいただいたりと、温かく心にしみるものも多くあります。

私の夢は、県内の病院で働く看護師になることです。東日本大震災では、人間の温かさや危機管理の重要性を痛感しました。今後も一層の努力をもって、勉強に励みたいと思います。そしてこの震災を通していただいた御恩を少しでもお返しできるように、将来の福島県、また日本を支えることのできる人物になれるように、歩んでまいりたいと思います。

「ありがとうございます」

【福島県警城第一高等学校

2年 女子

私の家は、いわき市の豊間にありました。しかし、3月11日の大震災と津波により、住み慣れた家と共に、教科書・学用品などが跡形もなく流されてしまいました。

震災から七ヶ月がたち、今は仮設住宅で生活しています

が、普通に学校生活を送ることができています。先日も沖縄・関西の修学旅行に行ってきました。このように普通の生活を送ることができるとも、多くの方々の義援、見舞い・激励のお陰だと、深く感謝しています。

今回、私は被災し、助けられ、支えられる立場でした。これからは、JRC社員としてもがんばって、多くの人を勇気付けることができたいと思います。

【郡山女子大学附属高等学校

3年 女子

今回の東日本大震災により、私の家は全壊という被害に遭い、今まで住んでいた愛着のある我が家を失いました。しかし、周りのいろいろな方々に助けられ、支えられたお蔭で、今は別の住まいで、家族と共に今まで通りの生活を送ることができるようになりました。今回頂いた見舞金は大切に使用させていただきました。両親も大変感謝しています。

自分たちにまさかこのような災害が襲いかかって来るとはまったく予想していません。なので、正直言えば、被災した方々の気持ちというのは今まで本当には分かりませんでした。しかし、こんな時には周囲の方々の有形無形の助けに、どんなに救われるかを実感しました。人間はみんな支え合えるのだということがわかり、とても心が温かくなりました。本当にありがとうございます。

みなさまの優しい気持ちに伝えることができるように、感謝の気持ちを忘れずに、今私の目の前にある目標に向かって努力していきます。

たいと思います。

【桜の聖母学院高等学校

1年 女子

私は、3月11日に起きた東日本大震災により、自宅は津波に流されるなどの被害はなかったものの、原発事故による危険区域内に入っているため、避難先までにはならなくなりました。避難所生活が続いている時、私はたくさんの人と関わり、そして励まされました。私は今、友達と話している時、自分は幸せなんだと感じます。理由は、私は最初から聖母を受験し、高校も下宿先も決まっていたからです。地元の浪江高校を受験していた友達は、別の高校に転入したり、サテライト生として別の高校の一部を借りて勉強したりするからです。この時から私は、聖母に入ったら自分の為だけでなく、転入して他県に行った人達の分も努力しようと思いました。

高校に入学してからは、授業についていくことと部活の両立が、中学校の時よりもとても難しく感じました。しかし、学校生活に慣れていくに

つれて、たくさんの方達もで
き、部活では少しずつです
が、結果が出るようになり
ました。

私は、東日本大震災にあっ
てから、自分の人生が変わり
ました。たくさんの方に支え
られ、助けられ、感謝しきれ
ないくらい感謝しています。
この恩を返すためには、今で
きることを精一杯やり、卓球
では結果を出すことだと思っ
ています。

これからも文武両道を目指
し、浪江町民や被災された人
達に元気を与えられるように
頑張りたいと思います。

「温かい心に感謝」
【尚志高等学校
2年 女子】

このたびは義援金を頂き本
当にありがとうございます。
「私学ボランティア基金」
を設けてくださった日本私立
中学高等学校連合会の皆様
と、義援金を寄せてくださっ
た皆様方に心から感謝申し上
げます。

3月11日の大震災の日、私

は学校にいました。大きな揺
れは今まで体験したことな
いもので、今でもその時のこ
とをはっきり覚えています。

地震で津波が発生し、家も車
も流される様子をテレビで見
た時は心が痛みました。地震
や津波で亡くなった人は1万
5千人をこえ、未だ行方不明
の方もいます。多大な被害を
与えた大震災でしたが、日本
中が復興に向け一つになり人
の温かさに触れ、優しさを知
ることができました。

私はこの東日本大震災で経
験し学んだことを忘れずに、
今後も一生懸命勉学に励みた
いと思います。

このたびは温かいお言葉と
ご支援、本当にありがとうございます。
【聖光学院高等学校
3年 男子】

3月11日から私の日常は激
変し、それは今も続いたまま
です。無理を承知で家を出て
高校に通わせてくれた両親に
何か少しでも恩返しをしたい
と自分なりに頑張ってきました。

残念ながら私の実家がある
浪江町は立入禁止区域とな
り、両親は職を失いました。
妹も大好きだった学校にラン
ドセルを置いたまま転校しま
した。避難所で不便な生活を
続けている家族を横目に、自
分は寮や学校で安全に好きな
野球を続けている。自分を許
せない日々が続きました。こ
の夏、私も家族も甲子園球場
でスタンドから仲間を応援し
ました。私は決して一人じゃ
ない。多くの仲間が私達家族
をも温かく応援してくれてい
る事を強く感じます。今回頂
いた私学ボランティア基金と
沢山の温かい気持ちを受け取
った私達は、何事にも挫けず
に、自分達に出来る事を精一
杯頑張っていくことが、唯一
皆さんの気持ちに報いる事だ
と思っています。温かい御心
を本当にありがとうございます。

残念ながら私の実家がある
浪江町は立入禁止区域とな
り、両親は職を失いました。
妹も大好きだった学校にラン
ドセルを置いたまま転校しま
した。避難所で不便な生活を
続けている家族を横目に、自
分は寮や学校で安全に好きな
野球を続けている。自分を許
せない日々が続きました。こ
の夏、私も家族も甲子園球場
でスタンドから仲間を応援し
ました。私は決して一人じゃ
ない。多くの仲間が私達家族
をも温かく応援してくれてい
る事を強く感じます。今回頂
いた私学ボランティア基金と
沢山の温かい気持ちを受け取
った私達は、何事にも挫けず
に、自分達に出来る事を精一
杯頑張っていくことが、唯一
皆さんの気持ちに報いる事だ
と思っています。温かい御心
を本当にありがとうございます。

【帝京安積高等学校
1年 女子】

東日本大震災で、私の家は
大きな被害を受けました。庭
は地割れし扉や壁は壊れ、そ
れまでの幸せな生活が一瞬に
して消えてしまいました。そ
の時の悲しい気持ちは今も心
に残っています。進学先は郡
山市にあるので、実家のある
宮城から下宿先まで車で行く
ことになりましたが、ガソリ
ンは残り少なくスタンドも閉
まっており、下宿先や部活で
必要な物が全く買えないなど
大変苦労しました。現在は、
親元を離れ、下宿先でソフト
ボール部の先輩方や同級生と
生活しながら、学校生活や部
活動などで充実した毎日を送
っています。

私は、この大震災では大き
な被害を受けましたが、たく
さんの人に支えられ乗り越え
ることができました。その一
つに義援金があります。実家
は今でも大変な状況にあるの
でもとても助かります。義援金
は、家の復興に使ったり生活
費に加えたりしています。こ
の感謝の気持ちを忘れずに、
これからも頑張りたいと思ひ
ます。

この度は、義援金による東
日本大震災のお見舞金を贈呈
していただき、誠にありがと
うございました。今回いただ
きましたお見舞金は、私たち
被贈呈生徒一同たいへん助か
りました。
今、私はイラストを描くこ
とを職業としているイラスト
レーターを目指して、独学で
勉強しています。独学だけで
は足りない知識や技術を学ぶ
ために、東京にある専門学校
を受験し、無事合格すること
ができました。そして、いた
だいたお見舞金を、専門学校
の学費や一人暮らしをするた
めの生活費にしたいと考えて
います。

【福島高等学校
3年 女子】

今後も、両親には苦労をか
けますが、専門学校を無事卒
業した後、就職をし、いつか
両親への恩返しに平屋を建て
ようと考えています。
本当にありがとうございます。

【福島成蹊中学校
3年 男子】

3月11日の東日本大震災
で、私はこれまでの生活が一
変しました。自宅も放射線の
影響で避難区域に入り、避難
を余儀なくされた状況下であ
ります。環境の変化にまだ対
応しきれておらず、思うよう
に事が進んでいません。
そのような中で、先日のよ
うな援助をして頂きました。
そして、支えてくれる人がい
る事を実感しました。本当に
心から感謝したいと思いま
す。

【福島成蹊高等学校
2年 男子】

3月11日に起きた東日本大
震災において、私の家の裏の
土手が崩れ、家が全壊し、住
むことができなくなりました。
地震の直後は、停電や断
水で街から明かりが消えまし
た。そんな時に、原発事故が
起こりました。私の街は避難
区域ぎりぎりの所にありま
す。私も、あれほど恐怖や不

東日本大震災被災校・生徒のメッセージ

安を感じたのは初めてでした。

私は今、高校2年生です。来年には受験があります。災害に負けず、気持ちを強く持ち、今、いつも通りの生活を送ることに感謝しながら、自分の進むべき道を一步一步確かに歩んでいます。

私は、今は何もできませんが、将来は誰かに感謝される仕事ができるよう頑張りたいと思います。

〔茨城県〕

【水城高等学校

校長 山野 隆夫】

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびは、東日本大震災に対し、多額の義援金をご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。いただきました義援金は、施設整備の為に有効に活用させていただきます。

今後とも、本校の発展のためににお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

【大成女子高等学校

校長 額賀 修一】

この度は、多額の東日本大震災見舞金を頂戴いたしました。誠に有り難うございます。

被害を受けました施設・設備の修復に有効に使わせて頂いております。

お陰さまで、生徒たちも日常の生活を取り戻しており、以前にも増して落ち着いた生活を送っています。また、生徒たちは、この震災を通して多くの方々を支えられている事を実感したのか、様々な事に積極的に関わるようになりました。この震災では多くのものを失いましたが、生徒たちの連帯感が高まり、より活発な活動が展開できている事が私たちの現在の喜びです。今後も、東北地方太平洋沖地震に誘発される大地震や福島第一原子力発電所の深刻なトラブル等もまだまだ予断を許さない状況ではありますが、懸命に生きている子どもたちの為に、私たちが努力を惜しまない所存です。

最後になりますが、私たちは全国の私学の皆様にご支援いただいた事を決して忘れません。本当に感謝しております。

【水戸女子高等学校

校長 鈴木 康之】

拝啓 例年になく暑さが続いておりますが、吉田会長におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また日頃よりの本校教育に対するご理解とご支援を、心から感謝申し上げます。

この度は過分なお見舞いをいただきまして、誠にありがとうございました。誠にありがとうございます。7月11日に300万円を頂戴し、恐縮することにも心から感謝申し上げます。

今回の大震災において本校は多大な被害を受けました。が、教職員・生徒とも毎日元気に過ごしており、着実に復興、復活へと歩みを進めているところでございます。

お陰様で本校は本年創立80周年を迎えることができました。また、7年連続で生徒数を伸ばし続けている貴重な私立女子高校となりました。今回の大震災でその勢いを止めることなく、今後も本校は日本人としてあるべき姿を、我々の建学精神に重ねながら、意義ある教育活動を展開

していきたくと考えています。今後ともよろしく、お願い申し上げます。

最後になりましたが、吉田先生のご健康とますますのご活躍をお祈りいたしております。

敬具

【翔洋学園高等学校

3年 女子】

日毎に寒さ加わる今日この頃ですが、この度はボランティア基金から心温まる多額の御見舞金を頂きまして、本当にありがとうございます。家族一同感謝の気持ちで一杯です。

東日本大震災に見舞われて8ヶ月になります。地震・津波に加えて福島第一原子力発電所の事故、放射能という目に見えない大災害です。そして私の家は、原子力発電所から約5キロメートルのところにあり、習日に避難し、現在はいわき市内に住んでいます。将来への不安と、故郷大熊に住むことの出来ないことへのとまどいといらだちを感じる毎日でしたが、皆様からの温かい激励とご支援に支え

られ、少しずつ元気を取り戻し、前向きに生きる勇気がわいてきました。

幸い私は千葉の方に就職も決まり、現在社会人としての準備をしています。私たち高校生には、かけがえのない若さがあります。明るい未来を信じて、社会に貢献できる人間になれるよう、一步一步進んで行くことをお誓いして、お礼の言葉と致します。

【清真学園中学校

2年 女子】

3月11日に起きたあの大地震によって、私が住んでいる地域は道路のひび割れや液状化がひどく、また断水がずっと続いていました。私の家もずっと住んでいることができません。両親もこのからの生活や家のことでいろいろと悩み、困っている様子でした。

そんな時、私学ボランティア基金から見舞金をいただき、とてもありがたく思いました。

しかし、いただいたのはお金だけでなく、一緒に全国の皆様の「心」もいただいた気が

がします。応援してくれる心。思いやってくれる心。たくさんの人の心が見舞金という形で届いたのです。このお金にはたくさんの人の心が詰まっているんだ、と思うと不思議と力が湧き、頑張れる気がしました。そして同時に、みなさんの優しい心に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも常に感謝の気持ちを忘れずに、何事にも諦めず挑戦してまいります。

【東日本大震災見舞金の御礼の言葉一

1年 女子】

突然の大きな揺れと同時に家中の全ての物がものすごい音と共に倒れ始め、居間に2人の兄と一緒にいた私には、いったい何が起こり始めているのか、夢中で揺れと戦いながら目の前にあったテレビの転倒を抑えていました。2階の屋根からたくさんの瓦がガラガラと落ちていくのを窓越しに見て、しばらくして大きな揺れが収まり、気が付いた時には家中が足の踏み場も無いほどに崩れ落ちてしまし

ています。応援してくれる心。思いやってくれる心。たくさんの人の心が見舞金という形で届いたのです。このお金にはたくさんの人の心が詰まっているんだ、と思うと不思議と力が湧き、頑張れる気がしました。そして同時に、みなさんの優しい心に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも常に感謝の気持ちを忘れずに、何事にも諦めず挑戦してまいります。

た。何度も続く大きな余震で

家の中にいる事が恐怖でたま
らなくなり、兄と共に家の外
に出て玄関の前で立ちすく
んでいました。家の敷地の1
3位が埋没して、それに伴っ
て家が傾き危険な状態であっ
たために、家族全員で傾いて
いない居間だけで初めて水道
も電気もない生活を送りまし
た。

その後2度の引越しを繰
り返しながら不自由で不安定
な生活が続き、心身共に疲れ
果てていましたが、現在はよ
うやく落ち着いた生活に戻り
つつあるところです。

自然災害は人間の力ではど
うにもならない事ですが、こ
のたびの全国の私立中高の学
校、生徒ならびに保護者の皆
様から寄せられた温かいご支
援によるお見舞金をいただいた
時、今まで不安にあふれて
いた心の中に熱い感情が湧き
上がり、人間として助け合お
うとする心こそが追い込まれ
た人間への希望の原動力とな
り、どれほど尊いことなのか
を強く感じ、教えていただき

ました。
今後はこの思いを生涯忘れ
る事なく心に刻み、この体験
を乗り越えて、いつの日か人
を助けられる人間になること
が出来るように、強く生きて
いきたいと思えます。
ありがとうございます。

東日本大震災被災校・生徒のメッセージ

【常磐大学高等学校 女子】
この度は義援金を頂きまし
て、本当にありがとうございます
ました。

震災の影響で以前住んでい
たアパートは住むことが出来
なくなり、引越さざるを得
なくなりました。しかも私立
高校への入学も控えており、
経済的な心配を母と共に感じ
ている中でのことでしたの
で、本当に感謝しております
す。

今回受けた支援を忘れるこ
となく、これから先の学校生
活も充実させられるよう努力
していきたいと思えます。そ
して、将来は自分が受けたよ
うな支援を人に与えられるよ
うな、社会貢献が出来る大人
へと成長していきたいと思いま

す。
「震災被害へのご支援を戴
いての御礼」
【水戸短期大学附属高等学校
2年 男子】
この度は、お見舞いを頂き
ありがとうございます。
3月11日の震災では、東北
3県はもとよりの、私の住んで
いる茨城県でも多数の被害を
受けました。私の住み慣れた
自宅も半倒壊してしまい、家
族全員が混沌とした気持ちで
過ごす日々が続きました。そ
のような中、5月にクラスの
友人たちと、少しでも何か役
立ちたい気持ちで、北茨城市
に行きボランティア活動に参
加しました。民家の瓦礫の撤
去作業をさせて頂きました。
そこで目の当たりにしたの
は、津波で流された民家や陸
に押し上げられた船など、今
まで見たこともない光景でし
た。私は自然の恐ろしさを実
感しました。

茨城県は、福島原子力発電
所から近いこともあり、農作
物への風評被害などもあるよ
うですが、県民一丸となって
この困難を乗り越えていきま

す。何年先になるかわかりま
せんが、以前のような穏やか
な日常が戻ってくると信じて
います。私はより一層、勉学
に励み、日々を有意義に過ご
していくとともに、今回のご
支援や励みを糧に、将来は社
会に貢献できる人材になるべ
く努力したいと心に誓いまし
た。

【明秀学園日立高等学校
1年 男子】
この度は皆様のご厚意で御
見舞金を支給して頂き本当に
ありがとうございます。主
に学費として大切に使用いた
と思っています。

3・11からはや半年が過ぎ
ましたが、あの日の大きな地
震を今でも鮮明に覚えていま
す。住みなれた家が流され、
それと同時に大切な思い出も
多く消えてしまいました。不
幸中の幸いで家族全員がそろ
うことが出来、それだけで十
分でしたが、しばらくの間は
全く現実を見ることが出来ま
せんでした。そんな中で、自
分が明るく今を過ごしていけ
るのは、今回のこの件のよう
に、多くの人達が支えてくれ

ているからだと思えます。正
直、赤の他人として過ごして
きた人達が、自らの利益にか
かわらず、親切にそして一生
懸命動いてくれるとは今まで
思っていませんでした。しか
し、私の想像以上に人は温か
いものだと感じました。そこ
で、もう一度深い感謝の意を
ここで表すことにし、お礼の
言葉とさせて頂きます。

「東日本大震災見舞金のお礼
の言葉」
【明秀学園日立高等学校
1年 男子】
この度は、私学ボランティ
ア基金よりお見舞金をいただ
き、皆様の御厚意に感謝申し
上げます。

「東日本大震災を体験し、自
宅が津波の被害を受けまし
た。その日私は、となり町の
小学校に友達と避難していま
した。家族との連絡がとれ、
夜の7時頃に迎えに来てもら
うことになりました。迎えに
来てもらう間は、避難先の小
学校の先生に頼まれて水や救
援物資を運ぶ手伝いをしてい
ました。震災後4日間は、水
も電気も情報もすべてが断た
れてしまい、不安な日々を過
ごしました。つらい経験では
ありましたが、資源の大切
さ、人とのつながりの大切さ
を改めて感じる事が出来まし
た。

3月11日の東日本大震災の
経験と、皆様の御厚意を忘れ
ることなく、これからも支
え、助け合い、苦難を乗り越
えて行こうと思えます。

【明秀学園日立高等学校
1年 男子】
まず何よりも始めに、感謝
の気持ちを伝えたいです。あ
りがとうございます。今回、
3月11日の東日本大震災では
多くの人々が犠牲になりました
。大きな怪我をした方、家
を失った方、大切な人を失っ
てしまった方、そして自分の
命を失ってしまった方がいま
した。

被災者ひとりひとりがそれ
ぞれ大切なもの、大切な人を
失ってしまいました。その中
でも命を失わなかった私は不
幸中の幸いといえると思いま
す。

被災者ひとりひとりがそれ
ぞれ大切なもの、大切な人を
失ってしまいました。その中
でも命を失わなかった私は不
幸中の幸いといえると思いま
す。

しかしこの震災で、失うものだけでなく得ることができたものもあったと感じられました。それは「人の温かさ」だと思います。このような被害を受けたからこそ、人の優しさにありがたみを感じたりしました。今まで当然だった、水が水道から出たり毎日食べていた食べ物を食べることができたりすることを失い、そして普段の生活に戻れたことに、改めて生きることの幸せを感じずにはいられません。

その中で見舞金を頂いて、「人の温かさ」を感じたときには目頭が熱くなりました。金額ではありません。この世界で自分たちを心配してくれている・応援してくれている人がいるということを感じ、感謝の言葉以外見つかりませんでした。

見舞金は主に、家の倒壊した部分を修理するのに使わせていただきました。今では家のことを心配することなく毎日学校に足を運んでいます。私は今高校1年生ですが、自分のできる勉強や野球部の活動を一生懸命行うことで、「み

んなのおかげで今僕は頑張っているよ！」というメッセージを伝え、恩返しがしたいです。本当にありがとございます。

【明秀学園日立高等学校
1年 女子】

今回の震災では、本当に大勢の人が被害に遭いました。私の家も全壊してしまい、不安な中で高校生活がスタートしました。様々な心配を抱えていた中で、今回の義援金というご厚意に深く感謝しております。そして、私にだけでなくこのような支援が日本全国で行われているニュースを見聞きするたびに、あらためて日本に生きる素晴らしさを実感しています。「感謝してもしきれない」という言葉は、この様な時に使うのだと思います。

皆様からの援助のおかげで、どうすることもできなかった家も、近いうちに建て直すことが決まり、私たち家族も引越先を探しているところです。今回の地震はとても大きな被害と試練を私たちに与えま

した。その爪あととは半年以上たった今でも残っています。しかし人々は助け合いながら、前に進み始めています。私もその一人です。多くの方が私を助けてくれたように、この温かい気持ちを忘れず、私もこれから一人でも多くの人の助けになりたいと思います。この度は誠にありがとうございました。

「お礼の言葉」

【明秀学園日立高等学校
2年 男子】

私達は今回の震災で、多くのものを失いました。私達は神様に見放されてしまった、そう思い気を病むこともありました。私達が負ったキスは、目に見えるものではなく、目に見えないものなのです。その渦中で、見舞金を送ってくださったのは、本当に有り難かったです。もちろん、お金が有り難かったのもそうですが、本当の意味で私達を助けてくださったのは、お金を送るという心なのであります。私達はちゃんと見守ってもらえていると、私達は支えられていると、そう思えます

た。それがどれ程私達の心の支えになったことか。震災からの数ヶ月、こう思うことが多々ありました。本当にありがとございます。

「お礼」

【明秀学園日立高等学校
2年 男子】

この度は、3月11日に起こった東日本大震災の被害に対する見舞金をありがとうございました。僕の家は、大規模半壊だったので両親もとても感謝していました。

今回の東日本大震災では、多くの被害をうけ、今も原発事故などで、避難している人もいます。その人々が安心して生活ができるように一刻も早く復興してほしいです。また、次にこのようなことが起こったら、困っている人の役に立てるように見舞金をもらって思いました。本当にありがとございます。

2年 男子】

私は今回の震災でさまざまなことを体験いたしました。日立駅では電車が通らず、電話も使えない状態でした。それでも、家へ帰ると家はひどく被害を受けていました。そして、家族で片付けました。が、今後住む上で強度に不安があったため、リフォームが必要になりました。また、姉の大学進学のため学費や一人暮らしのお金が必要でした。

このたび頂いた義援金は、そんな苦しい状況のとても励みになりました。生活用品を買いそろえたり、学校への通学費にあてたりと、とても助かりました。また、経済的だけでなく精神的にも救われました。見ず知らずの人々が自分のために募金してくださったと思うと感動すら覚えます。

皆様から義援金をいただき、誠に感謝しております。【見舞金に対するお礼の言葉】

2年 女子】

3月11日、私は学校にいません。すぐに学校近くの避難場所に避難しましたが一時は家族と連絡を取ることもできず不安な気持ちでいっぱいでした。なんとか自宅に戻ってみると家全体は傾き住める状態ではありませんでしたが、親戚の家に身を寄せ、今では何とか高校にも通えるようになりました。

今回、見舞金を頂いたことで、私たちが再び前を向いて一歩ずつ歩み出せたのは、全国の多くの方々からの温かいサポートがあったからだと思います。このことを改めて強く感じました。

まだまだ、震災前の生活に戻るには時間がかかると思いますが、今回の皆様からの支援を無駄にすることのないよう、精一杯充実した高校生活を送り、将来は何らかの形で今回の支援への恩返しをしたいと考えています。このたびは本当にありがとございます。

【明秀学園日立高等学校
2年 女子】

「お礼の言葉」

【明秀学園日立高等学校
葉】

この度は、義援金(私学ポ
ランティア基金)による東日
本大震災見舞金をいただきま
す。義援金は家の修復金にあ
てさせていただきました。私
の家は大規模半壊になってし
まって、直すためには結構な
お金がかかりました。そのた
め、義援金をいただいたおか
げで大変助かりました。

これからは、これまで以上
に勉学に励み、進みたい進路
に向かって頑張っていきたい
と思います。最後に、義援金
をいただき本当にありがとうございました。

「今回の震災で私が出たも
の」

【明秀学園日立高等学校
2年 女子】

今回の東日本大震災では、
地震と津波により、家が半壊
してしまいました。家が崩壊
していく様、津波が近づいて
くる様が今でも鮮明に思い浮
かべられます。電気、ガス、
水道などのライフラインも途
絶え、これからどう生きてい

けばよいのか分からない状態
が続きました。未だに震災の
恐怖は癒えてはいませんし、
また大きな地震がくるのか
と不安になります。そのよう
な中でお見舞金をいただいた
ことは、私達家族にとって大
変ありがたいことでした。私
の知る身の回りの人たちが
でなく、もっと多くの人に助
けてくれた人たちに「ありが
とう」という感謝の言葉を送
りたいと思うと同時に、「私
は一人じゃなく、多くの人に
支えられて生きていく」とい
う前向きな気持ちを持ってこ
れからの人生を歩んでいきたく
いと強く感じられるようにな
りました。

震災後、家族の大切さや友
人の大切さ、優しさの本当の
意味を知っただけでなく、協
力することが大きな力を発揮
するということ、そして優し
さの影響力の強さを実感でき
るようになったのも、今回頂
いたお見舞金のおかげです。
今回は本当にありがとうございました。

震災後、家族の大切さや友
人の大切さ、優しさの本当の
意味を知っただけでなく、協
力することが大きな力を発揮
するということ、そして優し
さの影響力の強さを実感でき
るようになったのも、今回頂
いたお見舞金のおかげです。
今回は本当にありがとうございました。

東日本大震災被災校・生徒のメッセージ

「お礼の言葉」

【明秀学園日立高等学校
3年 男子】

今回、東日本大震災によ
り、被災を受け、それにより、
全私学の関係者もろもろの方
の募金のおかげで見舞金を受
けとる事ができました。本当
に感謝しています。今思うと
もう8ヶ月たつてしまったの
だなどと思い、同時に人間とい
う生物の「生きる」という事
へのたくましさ、そして、日
本人の「助け合い」に感動し
ました。私は、今回の大震災
において家を無くしました。
そして、私の住んでいる町は
壊滅的な打撃を受けました。
海の近くは津波により家を流
され、山や森の方は地割れや
土砂崩れにより、畑が埋まっ
ていたり、コンクリートで出
来た道路でさえもぐちゃぐち
やになり、人が通る事もま
まならなくなつてとてもひどく
一言で言えば爆弾を落とされ
たような状態になりました。
正直私はこれから元の状態に
戻るのとはとてもじゃないが無
理ではないかと思ひ、あきら
めていました。しかし、もの
の2ヶ月もたつたら、地割れ

や陥没の後もキレイになくな
り車が普通に通れる所まで回
復してました。地震によ
り、心も体も疲れ果ていた
人達は進んで市に送られてく
る支援物資を整理し、町々に
運んでいました。私はそれを
見て、人というのは、とても
たくましく、そして、他の人
を助けようという心でいっぱ
いなんだなど感じました。
今回の地震で私を含めたく
さんの人間が大きな何かを学
ぶ事ができました。そして、
生きている事の大切さに気づ
けたと思います。これからも
少しずつ周りに返していきた
いです。

「見舞金に対するお礼」

【明秀学園日立高等学校
3年 女子】

今回の東日本大震災で私の
家庭も被災しました。その援
助に義援金を頂き、ありがと
うございました。

私の住んでいるところは、
日立の久慈浜漁港の奥のこ
ろで、地震で家が一部壊れ
その後から来た津波によって
床上浸水してしまいました。
また、家で漁業に従事して

いますが、津波で沖に避難し
たので船は大丈夫でしたが、
その後の原発事故の影響によ
り放射能被害で漁ができな
くなりました。家庭の収入がな
くなり生活が苦しくなりまし
た。高校の学費も滞ったり、
進路についてもすごく悩みま
した。義援金のおかげで、少
し希望が見えてきました。
私は東京の専門学校を希望
しています。今回の震災で辛
い思いをしました。しかし、
皆さんの温かい応援を頂きま
した。それらをもとに頑張つ
て進路に向かって進学してい
きたいと思ひます。また、残
りの高校生活でたくさんの方
の助けを借りていきたいと思います。
本当にありがとうございました。

「見舞金に対するお礼」

【明秀学園日立高等学校
3年 女子】

今回の東日本大震災で私の
家庭も被災しました。その援
助に義援金を頂き、ありがと
うございました。

東日本大震災での見舞金の
寄付をありがとうございました。
た。寄付金をいただけました
ことにより家の修理も済み安
心して暮らせるようになりました。
とても感謝しております。
今回、自分自身や自分が住

んでいる地域がこのような状
況になってしまい、沢山の被
害が出てしまいました。その
時に触れた団結力や人の温
かさを実感しました。
今後は、さらに人への感謝
の気持ちを持って生活してい
くことはもちろん、何かが起
きたときにだけ人を助けす
るのではなく、日常から此細
なことでも人に優しく、思い
やりを持って生活していきた
いと思ひます。

震災から8ヶ月が過ぎまし
たが、まだまだ普通の日常生
活を送れない人は沢山いま
す。時が過ぎていく中で、起
きたことを忘れることなく継
続的に自分自身もできること
を探し人の役に立てる人間に
なろうと思ひます。

〔千葉県〕

「私学ポランティア基金によ
るお見舞い金へのお礼のメッ
セージ」

千葉県立高等学校
教頭 竹内 勉

このたびの東日本大震災に
より、本校は、窓ガラス教
の破損、校舎壁のクラック等
の被害を受けました。本来な

らば、よの甚大な被害を受けられた学校へ送られるべきお見舞い金を私どもにお送り下さいましてありがとうございます。校舎修復の費用として有効に使わせて頂き、おかげさまで現在、校舎の修復も終わり、円滑な学校運営を致しております。ご厚志感謝申し上げます。

「東日本大震災義援金御礼メッセージ」

【千葉黎明高等学校

校長 天野 隆司】

この度は、私学ホフンティア基金による東日本大震災見舞金によるお見舞いと励ましのお言葉をいただきありがとうございます。東日本大震災に際しましては、幸いなことに生徒、教員に大きな怪我はありませんでしたが、老朽化の進んだ校舎などの学校施設は、本震並びに余震により損傷を受けました。東日本大震災見舞金につきましては、震災復旧費の一部に充当するなど大切に使用していただきました。そして、①現地の人達のところの中を想像して、被災地の人達を思い続け同じ

日本人として、震災経験を共有して、具体的な行動をすることの日本復興のため、未来を信じて、日本の力を信じて、自分の力を信じて、日本が一つになり、美しく元気な日本を復活させる為に自分を磨くこと、の大切さを伝えました。また、学校全体としては、生徒会、教職員を中心にした義援金活動、吹奏楽部のチャリティーコンサートを兼ねた定期演奏会の実施、震災被害者受け入れの為に本校合宿所の提供など被災者支援活動も行いました。これから、学校全体として、被災地の人達を思い続け、『何ができるか』を自分自身に問いかけながら、日本の復興の為に尽力して行きたいと思っております。ご支援・ご協力お願いします。

とが出来るかわからない状態で、不安ばかりが頭を過りました。

いざ入学してみるとその被害は想像を超えたものでした。グラウンドが波打っていたりし、文化祭などの行事を満足に実施することが出来ませんでした。しかし補修工事が徐々に終了していくと共に平穏な学校生活を取り戻せています。これもひとえに御協力頂いた多くの方々のおかげであると思います。本当にありがとうございます。

最後に、普段何気なく過ごしている学校生活ですが、思えばこうしてたくさん支えの中で成り立っていることに気づきました。重ねて御礼を申し上げます。

照明が倒れてしまいました。私自身も、登校できるようになるまで浦安市内で、泥かきのボランティアをしました。地震から約1ヶ月後に登校してみると、状況が非常に悪く、文化祭や体育祭が出来るかとても不安になりました。しかし、皆様のおかげで無事に文化祭や体育祭を行うことができました。

【東京学館浦安高等学校

1年 男子】

3月11日に発生した東日本大震災により僕たち1年生にも様々な影響がありました。甚大な被害により、入学説明会を学校ではなく別会場で行いました。入学式も挙げるこ

私自身も、登校できるようになるまで浦安市内で、泥かきのボランティアをしました。地震から約1ヶ月後に登校してみると、状況が非常に悪く、文化祭や体育祭が出来るかとても不安になりました。しかし、皆様のおかげで無事に文化祭や体育祭を行うことができました。

義援金のおかげもあり、今では普通に学校生活を送れるようになり、元気に毎日を過ごせています。多くの義援金を頂き、ありがとうございます。

【東京学館浦安高等学校

3年 男子】

この度は、東日本大震災に伴い、心温まる義援金を賜り、深く感謝申し上げます。本校は、この度の震災で、液状化などの甚大な被害を受けました。グラウンドが泥で埋もれ、校舎と地面には階段4段分の差ができ、何本もの

しかし、皆様の温かい義援金により、9月にはグラウンド整備が完了し、現在着々と震災前の状態に戻りつつあります。おかげで、予定通り文化祭、体育祭を実行することが出来ました。実際、震災直後はこんなに早く整備が進むとは思っていませんでした。皆様への恩返しとして私達に出来ることは、勉学に励むことだと考えます。これからは、完備された校舎のもと、東京学館浦安高校の生徒一人一人、自らの夢に向かって頑張りたいです。

【東京学館浦安高等学校

3年 女子】

私達の学校は震災直後、地盤沈下により私の身長と同じくらい地面と校舎の間が開いてしまったり、グラウンドは液状化により全面人工芝が一瞬にして水浸しになってしまったりと、多くの被害を受けました。休校や行事の延期なども相次ぎ、また、学校に来てもいつ大きな地震が再び来るかわからない状況で勉強するのはとても不安でした。

【稲草学園大学附属高等学校

3年 女子】

この度は、私学ホフンティア基金による東日本大震災見舞金をいただきましてありがとうございます。このお金を学費に使わせていただくことで私の志望している大学に行けることになりました。学校に行くことと地面や校庭は液状化していて大変驚きました。しかし友人や先生方の変わらぬ笑顔に会い、心温まる時を過ごせました。そして無事に高校生になれた今、400字詰め原稿用

次の日から学校は臨時休校になり、学校の被害の程度や、無事卒業の日を迎えられるのかわからないまま、どうすることもできずに不安でした。しかし、学校から連絡があり、後日、卒業式ではありますませんが卒業生が学校に集まり特別な会をすることができました。学校に行くことと地面や校庭は液状化していて大変驚きました。しかし友人や先生方の変わらぬ笑顔に会い、心温まる時を過ごせました。そして無事に高校生になれた今、400字詰め原稿用

【昭和学院秀英高等学校

1年 女子】

今回の震災被害に対し、沢山のご支援と励ましを頂き、ありがとうございます。

【昭和三学院秀英高等学校

1年 女子】

今回の震災被害に対し、沢山のご支援と励ましを頂き、ありがとうございます。

今回の震災被害に対し、沢山のご支援と励ましを頂き、ありがとうございます。

紙には書き表せない程多くの
人に支えられていることに感
謝し、精一杯にこれからの高
校生活を過ごしたいと思いま
す。

「震災を受けて思うこと」

【千葉晴陽高等学校
2年 女子】

このたびの東日本大震災の
被害に対するお見舞金ありが
とございます。

震災の日は、自宅がどのよ
うな状況なのか分からず、両
親と帰宅しました。想像して
いた以上に被害が大きく、停
電していたり、上下水道が通
っていないのでその日は、車
で一夜を過ごしました。特
に震災当時の自宅や自宅周
辺は、液状化による地盤沈
下が激しく、道路は車が通
れないほど段差ができてしま
っていたり、電柱、標識、建
物すべてが傾いてしまいま
した。

震災から5ヶ月間は、祖父
母の家に避難し、そこから車
で45分かけて駅まで行き、通
学していました。現在は、電

柱や標識は少しずつ直ってき
ていますが、家の傾きはまっ
たくと言っていないほど直っ
ていません。自宅が直るまで
仮の住まいとして、マンション
に住んでいます。

徐々に、町が元通りに復興
し、そして、またみんなで明
るい生活を送れるようになれ
ばよいと思います。

【千葉晴陽高等学校
3年 女子】

私の家は今回の東日本大震
災で、大規模半壊になりました。
家は傾き、壁にはひびが
入り、約1ヶ月は断水するな
どでしたが、現在もその家
に住んでいます。もともと私
の住んでいる地域は昔、沼地
だった場所を埋め立てたの
で、液状化や地割れが酷く、
ほとんどの家が傾き、電柱も
倒れるなどがありました。

数ヶ月して、やっと余震な
どが落ち着いてきたころ、家
を直そうと考えました。です
が、私たち家族には家を直す
お金がなく、市から貰った義
援金だけでは足りないかと困っ

ている時に、私学ホランティ
ア基金を頂きました。この義
援金は、全国の私立中学高等
学校の皆さんから寄せられた
お金だと聞き、私はとっても
感謝の気持ちで胸がいっぱい
になりました。人と人とのつ
ながりや助け合いはとても素
晴らしいものなんだと実感し
ました。今に苦しんでいる
方もたくさんいるからこそ、
これからも人々が協力して助
け合うことが大切だと思います。
何事にも負けず、頑張ら
しょう。

〔東京都〕

「大地震」

【成立学園高等学校
2年 男子】

3月11日、あの東日本大震
災が起こりました。それは僕
がまだ福島県にいる時でし
た。僕は埼玉県の親元を離れ
て福島県の卓球の強豪校に進
学し、所属していました。毎
日厳しい練習で身も心も疲れ
ていましたが、仲間と一緒に
練習をしていたので、頑張る
ことができました。

そしてここに来てもうすぐ
一年が経とうとしていまし

た。3月に入ってから地震が
頻繁に起こるようになってき
ました。クラスメートとは、も
うすぐ大きな地震が来るんじ
やね？」なんて冗談を言っ
ていました。

3月11日、この日はいつも
より早く授業が終わって、卓
球の練習の準備を終えて休憩
していました。練習開始5分
前、地震がきました。最初は
いつもと変わらない小さな揺
れでしたが、次第に大きくな
ってきました。外へ避難して
もまともに立っていられませ
んでした。地震の後には吹雪
が吹きつけてきました。幸い
に僕の周りには怪我人はいま
せんでした。しかし校舎をは
じめ、周りはめちゃくちゃに
なっていました。それから急
いで下宿先に帰ると、案の
定、部屋もめちゃくちゃで水
も出ません。もちろんトイレ
も使えませんでした。コンピ
二へ行くと弁当類、水は売り
切れで残っているのはカップ
ラーメンだけでした。どこの
スーパーやコンビニに行っ
てもどこも同じでした。

それから原発が爆発して危
なくなり急遽、埼玉県の親元

へ帰りました。あの時の体験
は一生涯忘れることができませ
ん。悪くもない体験ができた
と思いたいです。できればも
う二度と体験したくないです
が..。

「突然の転校にありがとう」
【東京純心女子中学校
1年 女子】

私は3月11日、宮城県仙台
市で東日本大震災を体験しま
した。初めて経験した恐ろし
い揺れ方でした。地震も怖か
ったですが、ライフラインが
途切れた時には、本当に恐ろ
しく寂しく、私の心も闇のよ
うに真っ暗になりました。

家の中は滅茶苦茶で、その
中で生活することもとても辛
かったです。駅や空港も破壊
され、津波で多くの方が亡
くなられたと知り、胸が痛
み、何もかもに氣力を失いま
した。まさに、時が止まった
ようでした。

避難していた祖父父母の家
で、今後の事が決まらず困っ
ていた時に、東京私立中学高
等学校協会の方々をはじめ、
多くの方々を支えられ、とて
もありがたく嬉しかったで

す。
これからも感謝の気持ちを
忘れず、前に進んで行きたい
と思います。

【日本橋女学館高等学校
女子】

3月11日の東日本大震災は
多くの人々の人生を変えた出
来事だと思います。仙台港付
近に住んでいた私は津波によ
り家を失いました。町自体こ
れまで見えてきた風景の跡形も
なく、その壊滅的な光景を目
の前にしてもなかなか現実だ
と受け入れることができませ
んでした。しかし、あれから
半年以上経った今、私は毎日
を楽しく過ごすことができ
ています。震災後、本当に沢
山の方々助けられました。自
分は失ったものよりもはるか
に得たものの方が多いように
思います。こうして幸せに高
校生活を送れる環境を作っ
て下さった方々に心から感謝
しています。いつか必ず支え
ていただいた恩を返せるよう
に高校生の今、できることを
今後に向けて精一杯頑張っ
ていこうと思います。

東日本大震災被災校・生徒のメッセージ

〔山梨県〕

【帝京第三高等学校 男子】

まず初めに今回ご支援を頂き誠にありがとうございます。

今年の3月11日、三陸沖を震源とする未曾有の災害が東北地方を中心に起こりました。私の地元は、その中でも甚大な被害を受けた宮城県石巻市という所です。

今回の災害で祖父と祖母、そして共に同じ時間を過ごした親友までも失いました。突然の出来事に現場を見るまで信じられませんでした。地元へ帰り住み慣れた町並みを見た時、もうそこには私が生まれ育った町はありませんでした。津波で全てを流され、自宅も学校も、そして人々の心も全てを津波は飲み込んでいったのです。

それから半年が過ぎ、各支援団体や自分の周りの人達に支えられ、助けられ何とか今日を迎える事ができました。今回の震災を通して学んだ事、それは、感謝の気持ち、そして人は決して一人では生きられないという事。これ

までも、そしてこれからも胸に強く刻み生きていきたいと思えます。

【日本航空高等学校 1年 男子】

この度は、私たち被災者に復興への支援として見舞金を寄与して下さい、心からありがたく思い、深く御礼を申し上げます。

多くの人々の人生を大きく変え、また終わらせてしまった悪夢のような災害から半年以上過ぎましたが、まだまだ人々の胸の傷は残ったままだと思います。しかし、いつまでも下を向いて立ち止まっている場合ではないと、希望とエネルギーを心に灯し、復興への更なる尽力に努めたいと思っています。

私は今、山梨で寮生活しながら学業にそして、クラブ活動に励んでいます。皆様の温かい心遣いを無駄にしないよう、精一杯頑張ります。

【日本航空高等学校 1年 女子】

東日本大震災で被災した東北地方の人たちを快く受け入れて下さった学校の方々や、経済面でいろいろ手助けして下さいる山梨県の方々や、周りで仲良くして下さいる同級生など、感謝をしてもきれない程助けられました。

今回頂いたお金は、勉強の為、部活の為、山梨で生活していく為に使わせて頂きました。お金を返すことは今の私にはできませんが、勉強を一生懸命やり、部活とも両立させるなど少しずつでも行動で返せていけたらと思います。

東日本大震災を体験して改めて日本人の優しさや心の広さ、マナーの良さを感じる事ができました。良い事だったんだなとプラスに考えて、周りで支えて下さっている方々に感謝を忘れずに生活していきたいと思えます。

この度は、ありがとうございます。ありがとうございました。

〔鹿児島県〕

【屋久島おおぞら高等学校 2年 男子】

3月11日に起きた津波で自宅が流されました。当日は、母親と2人で、財布と携帯電話だけを持って必死に避難し

ました。思い出のつまっていたる家や、慣れ親しんだ地元の風景が消えてしまっているのを見たときは、とても悲しかったです。

震災後、新生活をスタートさせるためにあたって、全国の方から様々な支援を頂きました。とても心強かったです。本当に何も無い状態からの再出発だったので、必要なものを努力して手に入れるというこの大変さ、そして手に入れた時の喜びを日々実感しています。

今回の震災で、辛いことや困難なこともたくさん経験しましたが、たくさんの方の優しさや温かさに触れることができました。今回、僕たちを支えて下さった全ての人々への感謝の気持ちを忘れず、今度は僕が人々を支えられるようになったと考えています。

【屋久島おおぞら高等学校 2年 女子】

3月11日に東日本大震災が起き、私の家は津波の被害に

合い、大規模半壊という認定を受けました。最初は、何が起きているのかもわからず、恐怖ばかりを感じていました。そして、周囲が落ち着いてきてからも、今までの生活に比べて、不安で不慣れた生活にただただ戸惑うばかりでした。

しかし、全国の方から、あたたかい励ましの言葉や、様々な支援をいただき、支えてくれる人たちがたくさんいるということを知って、これからも頑張っていくことが前向きな気持ちになることができました。

私は来年高校3年生になるので、進路についても本格的に考えなくてはなりません。どのような方向に進みたいのか、今はまだはっきりとは決まっていませんが、今回の震災支援で感じた「一人に感謝する気持ち」を忘れずに進んでいきたいと思えます。

【屋久島おおぞら高等学校 女子】

3月の震災は、今でも思い

出すことが辛くなる程の大きな出来事でした。それまで住んでいた住まいも震災の影響で住めなくなり、引越しを余儀なくされました。

その中でも、学校再開後に仲間達と再会できた時は本当にホッとしました。学校がある、大事な仲間がいて、前向きになった気がします。また、当たり前の生活がどんなに大切かということにも気が付きました。

最後に、この度は励ましのお言葉やご支援をいただきありがとうございます。



*文中の誤字・脱字等に関しては、勝手ながら訂正させていただきます。